

りつめい

題字・末川 博名誉総長

立命館大学校友会報

R Alumni

立命館大学校友会

No. **258** 2014 OCTOBER

巻頭特集

父の背中を追いかけて

— “結いの島” から思いを届ける —



輝くひと

乗り越えた先の、自分を信じる
スウェーデン王立バレエ プリンシパルダンサー
木田真理子 さん ('07産社)

乗り越えた先の、自分を信じる

「マリコ キダ」一。名前を呼ばれ、実感がないままステージに上がった。でも、授賞式で手渡されたトロフィーは、ずっしりと腕に重かった。今年5月、バレエ界で最も権威のある賞、ブノワ賞の最優秀女性ダンサー賞に輝いた。日本人が受賞するのは、史上初になる。

「お姉ちゃんがやっているから」という理由で、4歳でバレエを始めた。最初はレッスンに戸惑ったが、上達を感じると、次第に楽しくなった。16歳で若手ダンサーの登竜門、ローザヌ国際バレエコンクールに挑戦し、受賞。これをきっかけに、アメリカ中から優秀な生徒が集まるサンフランシスコバレエ学校へ留学し、技を磨いた。「賞をとって留学すれば、プロになれる」。そう思って日本を飛び出した。ところが現実には厳しく、プロが所属するバレエ団の入団試験すら受けることができなかった。すでに実績のあるプロダンサーしか受け付けていなかったからだ。まだ実績のない彼女に門を開いてくれる場所は、ほぼなかった。「プロになるのは、無理かもしれない」。完全に打ちのめされ、大学進学を考えた。

それでも諦めずに門を叩き続ける姿勢が、ついにカナダのバレエ団への入団を決める。一年目から主役を踊るチャンスを得て、居心地もよかった。しかし「一流の振付家と作品を創り上げる」とは、ということなのか。それをどうしても知りたくてスウェーデンへ。そこで世界的に有名な振付師、マッツ・エック氏の新作“ジュリエットとロミオ”でジュリエット役に抜擢された。マッツ・エック氏の17年ぶりの全幕バレエ新作とあって、世界中が注目する大作の舞台だ。ところが初演の半年前、予期せぬ事態に直面する。ひどい肉離れを起こし、歩くことはおろか、ベッドに寝たきりになってしまった。舞台の創作はすでに始まっている。「復帰できるのか」。どうしてもなく気持ちは沈んでいった。そんな時、頭に浮かんだのはこれまでの自分の姿だった。「いつだって怪我を乗り越えた後には、ワンステップ成長した自分がいた。今回だってこの怪我を乗り越えれば」一。自分を信じる力が、リハビリ生活を支え、彼女を再び舞台に立たせた。そのジュリエット役で見せた鬼気迫るほどの演技力とダンスが、世界のブノワ賞を掴んだ。

(表紙写真・平林義章 文・斎藤万里絵)
*P8に特別インタビューを掲載しています。



Fotograf Gert Weigelt Motiv Mariko Kida - Julia, Anthony Lomuljo - Romeo
“ジュリエットとロミオ”でジュリエット役の木田真理子さん(左)

スウェーデン王立バレエ
プリンシパルダンサー
きだ まりこ
木田真理子さん ('07産社)

輝くひと
90

立命館大学校友会報

りつめい OCTOBER 2014
No.258

03 巻頭特集

父の背中を追いかけて —“結いの島”から思いを届ける—

01 輝くひと

木田真理子さん

08 特別インタビュー

「経験と思いを伝えたい」

09 立命館中学・高等学校移転News

10 RITSUMEI INTERVIEW

全日本空輸株式会社 伊藤博行さん

14 オール立命館校友会大会2014 in 岡山

アカデミック企画のご案内

15 校友会・グループインフォメーション

16 校友会ネットワーク

18 震災関連記事

気仙沼・ONE-LINEプロジェクト「希望の光で被災地を笑顔に」

19 復興支援金芳名録

20 校友NEWS

22 研究者たち

硬くてしなやか、新しい金属材料を開発
理工学部 飴山 恵教授

24 学生イベント&スポーツ

26 キャンパストピックス

29 +Rな人

渡辺健太さん

30 INFORMATION

編集室から



巻頭特集

父の背中を 追いかけて

—“結いの島”から思いを届ける—

海を越えて、故郷へ帰っても、母校の支援を続ける人がいます。「後輩を応援したい」—その言葉の奥に、今は亡き父への思いがありました。奄美大島で、校友・渡博文さんと村上健治校友会会長が心の中に刻まれた、忘れられない思い出を語り合いました。



奄美大島開運酒造会長
渡 博文さん



立命館大学 校友会
村上健治会長

限りない夢を追うために、 応援したい

奄美大島を代表する実業家の渡博文さん。立命館大学に入学したのは終戦後、奄美群島が米軍政府の統治から日本へ復帰した、混乱の時期だった。島に帰った後は、観光ホテルを開業。さらに60代で黒糖焼酎の醸造元を譲り受け、島の活性化や雇用の創出につなげた。「若い人を支援したい」という思いは、長い間母校にも注がれている。その思いを聞きに、村上校友会会長が渡さんの出身地であり、酒造工場のある宇検村を訪れた。



父から受け継いだ思い

村上 これまで母校に多大な支援をして頂いたことに、まずお礼を申し上げたいと思います。遠くから支援して下さる先輩がいるということは、とても心強いことです。

渡 支援の道を未来へ続ける、その繋ぎ役として私たち世代がいます。そのために、できるだけことはやりたいと思っています。

—大学との関わりを教えてください。

渡 私はここ、奄美大島の宇検村の生まれなのですが、学生時代はまず数時間も歩いて中心部の名瀬へ行き、そこから船で鹿児島へ行く。そういう時代でした。大学の情報も、時々島に入ってくる情報雑誌でしか得られませんでした。私が立命館大学の法学部へ入ったのは、末川博先生に憧れていたからです。当時は先生に憧れて大学を選ぶ時代でしたね。島は米軍の統治下に

あったため、本土へ自由に行くことができませんでしたが、密航船で東京や関西へ出て進学した人もいました。それくらい、向学心に燃えていた時代です。

村上 私が進学した頃は学園紛争が激しく、学業に集中することが難しい時代でした。しかし渡さんは、その時代とは比較にならないほど困難な状況で進学されたのですね。そのご経験からか、渡さんからは母校への人一倍強い思いを感じます。

—その背景を教えてください。

渡 まず、私の考えには父が大きく影響しています。戦争で焼け野原になった島には、子どもたちの学校も、住む家すらありませんでした。父は建築の仕事をしていて、庁舎の建て替えをきっかけに、ある時米軍の招待を受けたことがありました。招かれた部屋に入ると、万年筆やカメラなどの貴重品がずらりと並べられ、「好きなものを持って行ってよい」と言われたそうです。父はしばらく考えて、「お願いがあります」と切り出しました。そして「島には今、子どもたちの家も学校も、それを建てる木材もない。この状況を何とかできないか」と訴えました。何よりも子どもたちの学校を建てたい、という父の話を聞き、米軍関係者が木材を提供してくれたそうです。しかし結局、権力を持った一部の人がそれらを全て横取りしてしまい、父の思いは届かなかったのです。私は後になってこの話を聞き、父の無念さを知りました。

村上 そういうご経験から、学校や学生の支援へ強い思いを持たれたのですね。

渡 父が学校の再建を願った背景には、自身の経験があったのではと思います。父が子どもの頃は、一部の子どもしか小学校へ通えませんでした。一家の中で一人を学校へ行かせるため、他の子どもはみんな苦勞して働き、夢を託したのです。父は成績



渡さんの父・武彦さん



が優秀だったので、小学校に通うことができました。しかし生まれた家が貧しかったため養子に出ていて、親元や苦勞して通った学校でも、何かと差別を受ける辛い経験をしたそうです。その経験から、「子どもはみんなが差別されず、平等に教育を受けられるべきだ」という信念を持っていました。私はそういう父の精神を受け継いできました。

村上 今のお話を聞いて、父親への思いや精神を受け継ぐということに、感銘を受けました。それは私にも通じるものがあるからです。私の父は、私が大学4年生の時に突然心筋梗塞で亡くなりました。生前、父は私の就職が内定したということを知り、就職祈願のためにお寺へ向かったそうです。途中でにわか雨にあい、びしょ濡れになりながら般若心経を100回唱えてくれた。その時は深く考えていませんでしたが、父が亡くなった一ヵ月後に、今度は私が交通事故で生死の境をさまよいました。目が覚めた病室で、私を思ってくれた父の気持ちが心に染みしましたね。他人よりは短い時間だったけど、愛情いっぱいに育ててくれた。その父から常に「心豊かに、たくましく生きなさい」と言われていました。大好きな父の存在、そしてその言葉を胸に、これまで歩んできました。

島の未来と共に歩む

渡さんは父親の仕事を手伝うために島に帰った後、ホテル業をスタートさせた。現在は行政と連携した長期滞在型の宿泊施設やレストラン、そして島の農作物を育てる農園など、様々な事業を展開している。中でも黒糖焼酎の製造は、日本一（2013年 東京商工福岡支社調べ）にまでなった。

—実業家としての道のりを教えてください。

渡 1966年、33歳の時に「これからは観光だ」と思ってホテルを開業しました。しかし、当時旅行会社にパンフレットを持って行っても、奄美大島は知名度も低くほとんど相手にされませんでした。転機となったのはその2年後。当時皇太子・皇太子妃

だった現在の天皇・皇后両陛下が奄美大島にお越しになり、私のホテルに宿泊されたのです。これをきっかけに、奄美大島がブームになりました。その時、奄美の良さが全国に周知されたと思いますね。

焼酎の醸造元を受け継ぎ、奄美大島開運酒造を設立したのは1996年、63歳の時です。島の経済を向上させるためには、特産品が必要だと考えていたこと、そして奄美大島で造られる黒糖焼酎の素晴らしさを、もっと知ってもらいたいと思ったことが理由です。まず出身地だった宇検村に工場を建設する計画を立てました。しかし、中心部の名瀬から車で1時間と距離が離れていることなどから、周囲からは猛反対にあいましたね。それでも「私を育ててくれた出身地に恩返しをしたい、雇用の促進に貢献したい」という、執念にも似た思いで工場を建てました。

酒造りの経験のない素人ばかりだったため、しばらくは手探り状態でしたが、黒糖の研究経験があった長男の妻を杜氏にして、



▶▶ Profile
株式会社奄美大島開運酒造 会長
渡 博文 さん
1933年
奄美大島・宇検村に生まれる
1954年
立命館大学法学部に入学
1966年
奄美大島観光株式会社を設立、ホテル開業
1996年
奄美大島宇検農産、奄美大島開運酒造を設立
1997年
奄美大島開運酒造を株式会社化
現在に至る

▶▶ Profile
立命館大学校友会
村上健治 会長
1947年
愛媛県に生まれる
1970年
立命館大学産業社会学部卒業
大和ハウス工業株式会社入社
2004年
同社 代表取締役社長
2011年
同社 代表取締役副会長
2012年
ダイワラクダ工業株式会社
代表取締役会長
2013年
立命館大学校友会会長に就任
現在に至る
学校法人立命館 理事も務める





女性にも喜ばれるくせない味に仕上げました。こうして、故郷の宇検村で生まれた私の焼酎。それが「れんと」です。その後焼酎ブームがきて、生産が全く追いつかない状況になりました。この状況をみて、私は本土への出荷をストップする決断を下したのです。なぜなら「まず島で愛され、島の人に飲まれる酒でなければいけない」と考えたためで、島内の消費を優先させる異例の出荷調整を行いました。おかげで今、島内の飲食店にはたくさん置いてもらっています。

村上 経営者として、素晴らしい決断ですね。地元への愛着を感じます。

渡 これをきっかけに、村の暮らしや文化活動に関わるようになり、様々な方面に夢が広がりました。と言っても事業ですから、大変な状況に悩むこともありましたよ。何回胃潰瘍を経験したかわかりません。しかし、「村の賑わいを取り戻したい。県外の人にも奄美の素晴らしさを感じてもらいたい」という一心で働いてきました。

まず環境をつくるのが大事ですから、島外の人と住民の交流の拠点にしようと、「開運の郷」と名付けた施設をオープンしました。これは宇検村と共同で開発したもので、宿泊施設やレストランがあり、運動公園や体育館も隣接しているのでスポーツ合宿によく利用されます。また、夏休みには島外から小中学生が合宿に来て、島の暮らしと文化を学んでいます。「奄美に行きたい」と言われると嬉しいですから、そう言われる島にしたいですね。

「夢を追い、人を応援する」

渡 どんな時も支えになったのは「夢を見、夢を追い、夢を食う」という、私の座右の銘です。これは事業を興して以来お世話になった方の言葉ですが、夢という目標を見つけたら、決断して全てをかける。荒波を乗り越え、夢が完成したらまた次の

夢を追い求める、という意味です。夢を成長させる、その繰り返しだと思っています。私も一生夢を追いつけたい。そして後輩にも、そういう情熱をかけられる夢を見つけてほしい。そのための支援だと思っています。

村上 私は大学、学生、そして校友が、車の両輪だと考えています。渡さんのように、様々な場所で、そしてそれぞれの立場で頑張る校友の先輩がいて、学生に勇気を与えられますね。先輩を誇りに思い、勇気が湧くのではないのでしょうか。逆に学校、学生が活躍し、輝いていれば、全国の校友も勇気をもらえる。私たちのように、ある程度の年になると母校の活躍が嬉しいものです。後輩に頑張ってもらいたい、という思いが出てきますね。これは共通していると思います。ですからお互いが頑張ることが、大学の発展につながると信じています。そのためにも、渡さんにはますます頑張ってもらいたいですね。そして渡さんのように、全国の校友にも活躍していただき、大学と校友の両輪がたくましく羽ばたいて、校友会100周年を迎えたいと思っています。

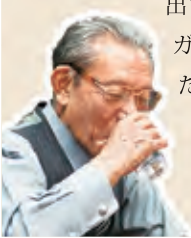
渡 奄美には「結いの心」という精神文化があります。これは「互いに仲良く、助け合う」ということを意味しています。島では昔から、みんなが助け合って農作業や行事をし、生活を営んできました。そういう島で育っていますから、支援は自然なことです。夢に向けて一生懸命働いて得た収入を、後輩の支援に役立ててもらおう。それは私にとって、大きな喜びなのです。私も頼られると嬉しくなりますから、まだまだ島で頑張りたい。自分の支援が母校の活躍に繋がること。それが自分自身の励みになっています。

父親が持ち続けた教育への思いを胸に、母校を応援する渡さん。学生たちにとっては、どんな時も夢を応援してくれる、父のように大きな存在だ。支援を続けることで、渡さんは今、これまで目標にしてきた父親の姿に近づいてきたのかもしれない。

ベートーベン育ち？

開運酒造の黒糖焼酎「れんと」

奄美大島開運酒造の名前を全国に広げた黒糖焼酎「れんと」。音楽用語で「ゆっくり」という意味だそう。美味しさの秘密は宇検村に流れる良質の水。そして大自然の中に建設された工場で、クラシックの名曲を聴かせながら、約3ヶ月間じっくり寝かせること。音を振動に変える装置をタンクに取り付け、変化のある振動を与えることで水の分子とアルコールをなじませる。この音響熟成が、まろやかな口当たりと豊かな香りを生み出す。よく聴かせる曲はベートーベンだが、シンガーソングライターの長渕剛さんが見学に訪れた時は、長渕さんの曲を聴かせたとか。



黒糖焼酎を愛してやまない渡さん。れんとは常に“お湯割り”で。

後輩たちの夢を応援したい

一校友会が取り組む支援のカタチ

渡さんのように「後輩たちの活躍を応援することが、人生の楽しみ」と語る校友は全国にたくさんいます。そんな気持ちを受け、校友会でも様々な支援のプロジェクトを行っています。

「不思議なことに、聴かせる曲で口当たりも違います」と渡さん。

こうして育った焼酎は、奄美の海と空をイメージしたブルーのボトルに詰められる。「このボトルも、校友の先輩の商店から仕入れています」。

最近では日本だけでなく、アメリカや東南アジアにも出荷され、世界にファンが増えている。この「れんと」の他に、父親の名前「武彦」をボトル名にした新しい焼酎も発表した。



就職活動応援企画

学生たちに働くことの意味やキャリアを考えてもらう企画を開催。



課外活動支援

スポーツ、文化など、様々な分野の学生を応援。



校友会未来人財育成基金

後輩・母校を支える支援。学生に直接役立てられるもの、学生と卒業生が繋がるものに活用されます。

募集要項

寄付の金額

①個人の場合／ひと口1,000円からご支援いただけます。
(継続的な寄付[毎月・毎年・年2回]をぜひお願いします)

②法人の場合／ひと口の金額は特に定めておりません。

募集期間

期間に定めはありません。

寄付の目標額(第1次活用プラン)

10億円(2012年10月1日～2020年3月31日)

第1次活用プラン(2012年～2020年)

「学生×校友×京都」グローバル人材育成交流拠点の設置～過去・現在・未来を結ぶ空間、校友の経験値を後輩に繋ぐ出発点～

税制上の優遇措置について

本寄付は立命館大学に対する寄付金であり、税制上の優遇措置を受けることができます。

申込方法

①WEBで申込む



<http://gift2r.info>

②携帯電話からのアクセスはこちら!

※一部機種によってはご覧いただけない場合がございます。

②書面で申込む

校友会事務局に資料をご請求ください。銀行振込・口座振替にてご寄付いただけます。

校友会未来人財育成基金に関しては
立命館大学校友会事務局 TEL075-813-8216
寄付の受入れ、税制上の優遇措置に関しては
立命館 総務部 寄付事務局 TEL075-813-8110
(受付時間) 土日祝を除く 9:00～17:30





特別インタビュー

木田真理子

木田真理子 © John Hall

「経験と想いを伝えていきたい」

バレエのアカデミー賞とも称されるブノワ賞に輝き、「バレエ界で最も活躍した女性ダンサー」に選ばれた木田真理子さん。大学進学か、海外のバレエ団でプロになるか。18歳で悩んだ時、選んだ道は「できるだけ、どっちもやってみよう」だった。

「自分は特別じゃない」

ー18歳でカナダのバレエ団への入団が決まり、立命館大学にも進学。両立は迷いませんでしたか。

木田 バレエ団の入団と、大学の合格という2つが重なって、自分でもすごく驚きました。両立するのは大変では、と悩みましたが、「大学に身を置くことも、これからの人生に大切なこと。できるところまでやってみたら」という両親の後押しもあり、両立を決めました。大学に入った頃、バレエと学生の二足のわらじを履くことは特別なことかと思っていました。でも入ってみたら、社会人入試を経て大学で学ぶ人もたくさんいる。衝撃を受けました。自分だけが特別じゃない、両立できるかもしれない、と考えました。そんな周りの刺激もあって、両立できたのだと思います。

ープロダンサーと大学生、どう両立しましたか。

木田 恵まれたのは、所属したカナダのバレエ団のシーズン（契約期間）が短くて、8月から翌年の3月までだったのです。だからバレエのシーズンにはカナダでバレエに集中し、日本にいる間は、大学の勉強に集中しました。いま所属しているスウェーデンのバレエ団のように、12カ月の契約だと両立は難しかったですね。運と条件が揃ってできたことだと思います。

ダンサーとしても、人間としても成長したいという気持ちが、そんな運と条件を掴んだのかもしれない。

仲間に助けられた学生生活

ー実際に大学で学んだ感想は

木田 前期しか通学できなかったため、その分多くの授業を一度に選択しなければならず、卒業にも5年かかりました。特に最初の一年は何が何だかわからないほど大変でしたが、卒業した後、大学で学んでいてよかったと思いました。広く社会を学べたことが、いまでも踊りの

表現の面で活かしていますから。でも記憶に残っているのは、勉強ではなくゼミの飲み会です（笑）。一人で孤独に勉強するだけなら続かなかったかもしれません。ゼミに入って、仲間と飲みに行ったり、一緒に課題をこなしたり。大学にはそんなまわりの人がいたから、孤独に感じることもなく助けられました。

ー今後目指す姿は

木田 18歳から20代前半は、自分をどれだけ高められるか、ということに必死でした。25歳からは、経験や知識も積んだ分選択肢の幅も広くなり、悩むことも多くなりました。悩む中で、大きいことも小さいことも一つずつ自分で選択して、今ターニングポイントを迎えています。自分を高めることは永遠のテーマですが、これからは自分が選択した中での経験や、想いを伝えていくことにもチャレンジしたい。そう思っています。

自分の経験を伝えて、バレエ界だけでなく社会に貢献したい。その想いを、言葉と同じくらいまっすぐな目でも伝えてくれた木田さん。その目には、自分が進みたい道をしっかりと歩んできた人が放つ力があつた。



スウェーデン王立バレエ プリンシパルダンサー

木田真理子さん（'07産社） 大阪府出身

2000年	ローザンヌ国際バレエコンクールで受賞 サンフランシスコバレエスクール留学
2002年	カナダのアルバータバレエ所属
2004年	レ・グラン・バレエ・カナディアンへ移籍
2009年	スウェーデン・ヨーテボリバレエへ移籍
2012年	スウェーデン王立バレエに移籍
2014年	同バレエ団 プリンシパルダンサー昇格 文化庁長官表彰・国際芸術部門に選ばれる イタリアの「第42回レオニード・マシーン賞」受賞
2020年	開催予定の東京オリンピック・パラリンピック組織委員会顧問



Hello!

立命館中学校・高等学校移転 長岡京キャンパスNEWS



メディアセンター

今年9月、立命館中学校・高等学校は、「新しい価値を創造し、未来に貢献できる人を育てる学校づくり」を目指し、26年間で過ごした深草キャンパスから長岡京キャンパスへと移転しました。新キャンパス開設で、Super Science High Schoolにおける科学教育や国際教育、そして小中高12年間一貫教育のさらなる展開を加速させます。また、通学圏を京都エリアから関西エリアに拡大するとともに、立命館大学（衣笠、BKC、大阪茨木）との連携を活かし、より高度で立命館らしい新たな教育スタイルを創り上げます。

長岡京キャンパスの特徴は？

新キャンパスには、「交流」「発信」「グローバル」「サイエンス」をキーワードに、より立命館らしい学びの施設が設けられました。



日本文化室

グローバル

50畳の和室は、日本文化に親しみ、海外の生徒たちと文化交流を図る場として活用されます。



清和記念ホール

発信

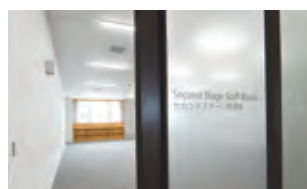
約1060席のホールが、生徒の自主活動や講演会などさまざまな行事に活用されます。大規模な空間を活かしたプレゼンテーションやコンサートも可能です。



理科教室

サイエンス

充実した研究が可能な理科実験室では、大学レベルの設備で国内トップレベルの科学教育が行われます。



小教員室（セカンドステージ教員室）

交流

小学校と中学校の教員が小教員室で交流、連携し、12年間一貫教育を加速させます。



この他、タブレットやパソコンが活用できるメディアラボ、約70人の生徒がともに宿泊できる体験学習棟など、様々な施設で学びを深めることができます。校舎全体の延床面積は、これまでの27250㎡から38927㎡へと、約1.4倍の広さに拡大されました。グラウンドや体育館などの運動施設は可能な限り大きく確保され、心と体を鍛えるのに相応しい施設が整備されています。



一人一人の誠実さを積み重ね 世界で選ばれるエアラインへ

整備出身、異例のキャリア

2013年4月、ANAの代表取締役副社長に就任した。しかし40年前の入社当時は営業でも経営でもなく、現場の航空整備士。整備畑を長く歩んでから経営者へという、異例の経歴を持っている。

伊藤 カッコいい話ではないのです。私は大学の成績が良くなかったので、理系で主流だった学校推薦ではなく、個人で試験を受けることにしました。当時のANAは就職試験が学校推薦ではなくて、個人の自由応募で受けられたこと、それに「飛行機という最先端の技術に直接触れられるので、おもしろそうだな」と思ったことが試験を受けたきっかけです。そして1974年に入社し、まず大阪国際空港（伊丹空港）で3年間整備の実務経験を積んで、受験資格ができたなら一等航空整備士の国家試験を受けようと思っていました。しかしそこへ技術職スタッフへの辞令が出て、私としては現場を離れることは本意ではなかったのですが、生産管理のセクションへ移りました。さらにその3年後、29歳で今度は人事や賃金などに携わる労務管理の仕事に移って4年間その職務を経験しました。これが私の一番初めの転機になります。私はこの労務管理の経験があったからこそ、技術系の人間が歩まなかったキャリアを歩ませてもらったのだと思っています。

その後東京へ異動し、本社の広報室勤務になり、2年間広報マンとして働きました。ANAが初の国際線定期便を成田空港からグアムへ飛ばすことになった1986年、その初便行事を担当し、再び整備の現場に戻って、その後は整備一筋。そういう意味では40年間のキャリアのうち、ほとんどを整備の世界で過ごしてきました。今はオペレーション統括といって、整備士や乗員といった現場の総合的な管理をしています。また経営トップから現場まで、全ての安全管理体制を取りまとめる安全

統括管理者にも、業務の重要な決定に経営者としてものが言える、判断できる立場ということで選ばれました。これも整備現場の経験があったからです。肩書きの重さはそれほど気になりません。でも以前は整備本部長などで自分の現場を持っていたのに、今はそれがなくなることがちょっと寂しいですね。ずっと現場育ちでしたから。

若い社員は“スポンジ”に 管理職なら専門性の追求を

現在の姿からは全く想像できないが、伊藤さんは異動した新たな部署で「電話の対応にも苦労した」経験があるという。それをどう乗り越えたのか。

伊藤 これまで一番大変だったのは、33歳で整備の現場から広報の業務に異動したときです。東京の本社で外の世界への窓口になったのですが、当時の私は電話のやり取りなどで使う「御社」「弊社」という言葉も知りませんでした。社会の一般常識が足りず、非常に萎縮したものです。しかし、良かったことは当時素晴らしい先輩に恵まれたことで、怒られながらも本当にかわいがって育ててもらいました。ここでは、困っている時は自分を一度白紙にして素直に助けてもらう大切さを学びました。壁にぶつかった時は、自分一人の力で乗り越えることは難しいものです。この時の経験もあって、新入社員にはよく「スポンジになれ」と言っています。素直に「わかりません」と言ったほうがいろんなものを吸収していけますから。そうやって先輩の経験を吸収しながら、管理職になったときには「この仕事は自分が一番よく知っている」と自信を持てるように仕事をしていくことが大切ではないでしょうか。若い社員と管理職になったとき、そのポジションによって気持ちの持ち方を変えるべきだと思っています。



全日本空輸株式会社
代表取締役副社長

伊藤博行 さん
（'74理工）





チームワークと誠実さが 航空機を大空へ飛ばす

思わぬタイミングで、伊藤さんは整備の知識を活かすことになる。整備の経験があったからこそ、より身に染みる安全の尊さ。その時根付いた信念が「大切なのは技術だけではない」という考えにつながっている。

伊藤 1985年に起きた日航ジャンボ機墜落事故、あのとき広報部門にいたことも私にとって大きな転機となりました。当時のJALは大混乱していたし、ANAでは私が初めて整備現場から広報へいった人間だったので、事故の原因など技術的な問い合わせをよく受けました。航空業界そのものが本当に厳しい状況下に置かれた中、私は整備の経験と知識を活かすことになりました。520名の方が亡くなったあの事故は「何があっても絶対に航空事故は起こしてはいけない」。それを肌で感じた出来事です。

以前私も職員採用の最終面接をしていたのですが、その時「整備士にとって一番大切なことは何だ」と必ず聞きました。私の答えは「チームワーク」です。あれだけ大きな飛行機ですから、一人では整備できません。それに整備は機械ではできませんから、人間の手

で一つ一つネジを締めなきゃ飛行機は飛ばない。整備士たちがそれぞれの分担をきっちと誠実にやることで、一機の飛行機の整備が完成します。これは関わる一人一人を信用しなければできません。最後は最終責任者が完了のサインをしますが、何かあったら彼が警察に引っ張られます。だから一人一人が誠実であること、そしてチームワークと互いの信頼が必要です。私どもANAは、飛行機を飛ばす技術において世界一だと思っていますが、それは飛行機を飛ばすということに関わる全員が世界一誠実に対応している。その積み重ねなのです。

原点は学生時代に知った 「人のあたたかさ」

航空の安全と企業の発展のために、人と人との関係を何よりも大切にする。それは入社から40年たった今も変わらない。その原点は学生時代の経験にあった。

伊藤 大学生だった頃、私は衣笠キャンパスの近くにあった松井マンションと呼ばれる、マンションとは程遠い一軒家に住んでいました。みんなノックもなしに出入りするから、プライバシーなんか全くない生活でしたね。学業の方は機械製図の作成が苦手だったため、卒業を前にして課題を提出できず困っていました。すると同級生に親切なやつがいて「おまえはどうせできないだろうから、自分の製図を写せ」と言ってくれたのです。ところが僕はそれを写すこともできませんでした。実はその機械製図を写したのが、当時経営学部の学生で、今の私の女房だったのですが（笑）そんな助けがなければ卒業できていませんでした。大学時代はそんないい同級生に恵まれました。また下宿の先輩にも本当に親身になって世話をしてもらい、よく食事をごちそうになったことを覚えています。それがなければとても学生生活を乗り切れませんでしたね。この記憶が、今の「人間関係を大切にする」という考えのベースになったと思います。

企業も人間関係が一番力になると確信しています。私は会社の先輩たちにかわいがってもらいました。だからそのお礼は、少しでも会社を良い方向へ発展させて、後輩に返す。大切なのは先輩たちが常に部下たちをき

ちっと見ていること。「いつも気にかけているよ」というメッセージを伝えてあげる。それが脈々とつながっていくことが会社を存続させ、後輩に引き継ぐことにつながっていると思っています。私も“どうやってみんなの力を引き出すか”ということが自分の仕事だと思っていますし、後輩には目配りをするを日々心掛けています。

しかし今、私はANAの変化にある危機感を持っています。特にANAが新卒大学生の就職人気企業1位になったとき、その危機感を一番強く感じました。どういうことかと言うと、「自分の会社が好きだ」という気持ちが変わってきているということです。私たちの年代の社員はいつもJALと比較され、ANAを発展させて良くしたい、いつかはJALを追い越したいという思いを常に持って努力してきました。ところが今入ってくる人たちが「ANAという会社が好きなのではなく、人気企業1位だから入社した」のなら「今以上に良い会社になりたい」という気持ちにならないわけです。1位でなくなれば、その人たちは会社から離れていってしまいます。「この会社が好きだ、さらに成長させたい」という思いを社員の中に醸成させていくためには、やはり先輩たちが後輩にその思いを伝えられる人間関係が大切だと思っています。

ANAは国際線の旅客数でJALを追い抜きました。しかし私はあまり数字で一喜一憂する方ではなく、それよりも会社を存続させていく、後輩により良くして引き継いでいくにはどうしたらいいのか考えなければならないと思っています。会社を良い方向へ変化させていくために一番必要なことは、ビジネス書に書いてあるようなカッコいいことではなく、会社に対する愛着だと感じています。

アジアの感覚と日本の心 成長し続ける企業へ

自分が育った企業を、次世代のために発展させたいという伊藤さん。その目は今、アジアに向けられている。

伊藤 私どもANAが今後どこで成長するか、それは国際線です。中でも東南アジアの成長を自分たちの成長と結び付けていこうと思っています。ですが、それはただ規模を追うのではなく「どうすればお客様に選ばれるのか」を自らに問いかけていかなければなりません。今までは日本のお客様に選ばれればよかったが、これからアジア圏でも選ばれるためには、もはや日本人だけでは戦略がたてられません。今後はアジア圏の社員を入れるなど、多様な民族でやっていく必要があると思います。しかし他国の意見だけでサービスなどを展開するのではなく、そこは日本の感覚、おもてなしの心とうまくカスタマイズすることで他と差がつき、世界で選ばれるエアラインになると思っています。

立命館大学も大分県に開学した立命館アジア太平洋大学のように、グローバル社会を見据えた先駆者としてトライしていることは素晴らしいですね。従来グローバル化というと欧米化というイメージでしたが、今は“アジア化”だと思っています。後輩の皆さんにはもっと外に出て、アメリカ、ヨーロッパだけではなくイスラム、アジアなどの異文化に出会って欲しい。それが将来の活躍の場を広げることになるとしています。

Profile

全日本空輸株式会社 代表取締役副社長

伊藤博行さん（74理工）
Hiroyuki Ito

北海道に生まれる。趣味はゴルフと愛車を洗うこと。週末は茨城県の自宅へ帰り「触った時に指が滑るよう納得いくまで磨きます」と、飛行機の塗装と同じく車の表面にも整備士ならではのこだわり。乗る時間が無いのが悩み。



1974年 立命館大学理工学部 卒業
全日本空輸株式会社に航空整備士として入社
1984年 同 広報室広報課
1986年 同 整備本部東京ライン
整備工場整備統制室計画課
2003年 同 執行役員 整備本部副本部長

2006年 同 取締役執行役員 整備本部長
2008年 同 常勤監査役
2010年 同 常務取締役執行役員 整備本部長
2013年 同 代表取締役副社長（現職）
現在に至る

白川静と 漢字教育

白川静文化勲章受章10周年記念

2014年10月25日(土)

参加費
無料

[開演] 13:00 ~ 14:40 (開場 12:30 ~)

[会場] 岡山シンフォニーホール 大ホール

*申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

ホームページから、または専用紙にてFAX・郵送でお申し込みいただけます。
<http://r-shirakawa-kanji.jp/>

これまでにない新たな解釈で「漢字の魅力」を打ち出した白川静先生。先生の文化勲章受章10周年を記念して行われる本イベントは、加地伸行先生をはじめ、漢字教育の現場に近い専門家5名によるディスカッション「漢字教育のこれから」、特別ゲストに名誉漢字教育士でタレントの武田鉄矢さんを迎え、白川文字学に留まらず人間・白川静の魅力について語り合う「白川静と私」の2部構成でお届けします。



白川 静

先生はどのような人?



1910年福井県生まれ。立命館大学名誉教授。小学校卒業後、大阪の法律事務所にて住み込みで働きながら学問を続け、1933年立命館大学入学、卒業後に立命館大学の教授となる。漢字や中国の古代文化の研究に取り組み、漢

字の源である「甲骨文字」・「金文」の解読に基づき、古代中国の社会と文化を紐解き、新たな学説「白川文字学」を生み出した。『字統』『字訓』『字通』の字書三部作のほか、著書多数。その他の業績に対して2004年には文化勲章を授与された。

第1部

漢字教育のこれから

13:00 ~ 13:50



加地伸行
白川静記念
東洋文字文化研究所
副研究所長



山崎博雅
山陽新聞社取締役
編集主幹



津崎 史
白川静先生
ご長女



戸川英雄
朝日塾中等教育学校
講師



林 雅則
福井県教育長

「読解力の基本は漢字力」、「漢字の丸暗記ではなく系統性の理解を」。白川静博士が求めた「理想の漢字教育」を通して、系統性の発見や推理力の開発など、「漢字を教える」ことから「漢字で教える」ことへの転換を考えます。

第2部

白川静と私 加地伸行 × 武田鉄矢

14:00 ~ 14:40



加地伸行 白川静記念東洋文字文化研究所 副研究所長
1936年生まれ。1960年、京都大学文学部卒業。高野山大学、名古屋大学、大阪大学、同志社大学を経て、大阪大学名誉教授。立命館大学フェロー。専攻は中国哲学史。文学博士。



武田鉄矢 名誉漢字教育士
1949年生まれ。福岡教育大学卒業(2008年名誉学士)。在学中フォークグループ・海援隊を結成。1972年LP「海援隊がゆく」でプロとしてデビュー。TBS系列「3年B組金八先生」、日本テレビ系列「世界一受けたい授業」では漢字にまつわる講義を展開。

武田鉄矢氏と白川静先生との意外な出会い、白川文字学の魅力「金八先生」のエピソードなどを交えながら語っていただきます。

R Alumni 立命館大学校友会

本企画のお問い合わせは 立命館アカデミック企画事務局 〒703-8282 岡山県岡山市中区平井 1109-5 (株)DAI 内
TEL: 050-3692-1212 FAX: 086-899-6321 E-mail: info@r-shirakawa-kanji.jp

【主催】立命館大学校友会、「オール立命館校友大会 2014 in 岡山」実行委員会【鳥取県東部校友会、鳥取県西部校友会、鳥取県校友会、岡山県校友会、広島県校友会、広島県東部校友会、山口県校友会、宇部小野田校友会、徳島県校友会、香川県校友会、愛媛県校友会、高知県校友会】、立命館大学父母教育後援会 【共催】立命館大学、立命館アジア太平洋大学 【後援】岡山県、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、山陽新聞社

Webでのお申込はこちら *申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

<http://r-shirakawa-kanji.jp/>



専用申込用紙にてFAX・郵送でもお申し込みいただけます。左記Webページからダウンロードいただくか、校友会本部事務局(075-813-8216)までお問い合わせ下さい。

「オール立命館校友大会 2014 in 岡山」では他にも様々な企画が行われます。詳細は同封のパンフレット、あるいは下記Webをご覧ください。
<http://r-nakayoshi2014.jp>

INFORMATION

校友会・グループ インフォメーション

校友会・グループ	日 時	会 場	問い合わせ先
福島県校友会総会	9/27 (土) 17:00	ホテルハマツ	馬場 幸蔵 024 (922) 4964
千葉県校友会総会	10/4 (土) 16:00	船橋グランドホテル	小林 常男 043 (250) 5318
大阪いばらき立命会総会	10/4 (土) 18:00	茨木市役所南館 9階スカイレストラン	事務局 https://ja-jp.facebook.com/ibarakiritsume
茨城県校友会総会	10/5 (日) 13:00	三の丸ホテル	木村 幸夫 029 (252) 8401
新潟県校友会総会	10/5 (日) 13:45	万代シルバーホテル	小畑 正敏 025 (247) 2478
文学部英米文学同窓会総会	10/5 (日) 16:00	レストラン菊水	佐藤 渉 077 (526) 3464
立命館清和会総会	10/18 (土) 16:30	ウェスティン都ホテル京都	立命館清和会事務局 075 (323) 7111
高槻・島本校友会総会	10/18 (土) 17:30	アンシェルデ・マリアージュ	渡邊 昇 072 (673) 1634
数物会総会	10/18 (土) 13:00	BKC ローム記念館	数学物理学系事務室内 (FAX) 077 (502) 2466
福井県校友会総会	10/19 (日) 16:30	ホテルフジタ福井	品谷 義雄 0776 (56) 1048
軽音楽部OB会OB & OG SESSION 2014 in KYOTO	10/19 (日) 13:00	アパホテル京都祇園EXCELLENT	福井 正秋 075 (861) 0815
岐阜県建設会総会	10/24 (金) 18:00	ホテルリソル岐阜	野崎 勝己 (職) 058 (251) 6105
オール立命館校友大会 2014 in 岡山	10/25 (土)	ホテルグランヴィア岡山	校友会事務局 075 (813) 8216
広島県東部校友会総会	10/25 (土)	校友大会 2014 同時開催	島田 斉 084 (922) 6361
高知県校友会総会	10/25 (土)	校友大会 2014 同時開催	平井 雅章 088 (893) 3410
建設会総会	10/25 (土) 13:30	京都タワーホテル	環境都市系事務室内 077 (561) 4911
やまと郡山立命会総会	10/26 (日) 11:00	やまと郡山城ホール レセプションホール	章 一良 0743 (53) 3144
兵庫県校友会総会	11/2 (日) 11:00	生田神社会館	伊藤 四朗 078 (451) 7751
鳳凰会総会	11/2 (日) 11:30	立命館宇治中・高	鳳凰会事務局 0774 (41) 3000
埼玉県校友会総会	11/8 (土) 12:00	銀座アスター川口賓館	榎本 哲郎 (職) 03 (3552) 2201
長野県校友会総会	11/8 (土) 13:30	松本東急イン	降幡 信秀 0263 (25) 0279
鹿児島県校友会総会	11/8 (土)	プラザN	川窪 宏一 (職) 099 (253) 3336
鳥取県東部校友会総会	11/14 (金)		西垣 佳則 (職) 0857 (30) 0555
北摂校友会総会	11/14 (金) 18:30	千里阪急ホテル	湯川 正之 (職) 06 (6844) 2001
石川県校友会総会	11/15 (土)	金沢ニューグランドホテル	木場 密雄 076 (243) 5806
愛知県校友会総会	11/15 (土) 16:30	名鉄グランドホテル	事務局 (株) 電広エイジェンシー内 (FAX) 052 (937) 1250
大分県校友会総会	11/15 (土)	大分センチュリーホテル	佐藤 昌彦 097 (521) 5392
宇部小野田校友会総会	11/15 (土)		森島 正信 0836 (34) 8604
福岡県校友会総会	11/22 (土)	ソラリアホテル	事務局 大成印刷 (株) 内 092 (472) 2621
広島県西部地区校友会総会	11/29 (土) 17:00	宮島コーラルホテル	平岡 滋 080 (2902) 7126
栃木県校友会総会	11/30 (日) 13:30	宇都宮東武ホテル・グランデ	笠原 朋雄 (職) 028 (671) 2055
滋賀銀行比叡会総会	12/6 (土) 17:00		
京都校友会総会	12/13 (土) 11:00	ウェスティン都ホテル京都	立命館大学校友・父母課 075 (813) 8216

2015 年

校友会・グループ	日 時	会 場	問い合わせ先
建立会 (建設会大阪支部) 総会	1/24 (土)		原田 直樹 090 (8933) 7108
東京校友会総会	2/7 (土)	明治記念館	立命館東京キャンパス 03 (5224) 8188



都道府県・海外校友会

- 6/4 和歌山県校友会総会
(76名・ホテルグランヴィア和歌山)
- 6/14 奈良県校友会総会
(230名・奈良県新公会堂)
- 6/15 山梨県校友会総会
(41名・古名屋ホテル)
- 6/15 三重県校友会総会
(160名・津都ホテル)
- 6/27 大阪校友会年次大会
(約500名・スイスホテル南海大阪)
- 6/28 滋賀県校友会総会
(約150名・大津プリンスホテル)
- 6/28 香川県校友会総会
(160名・ホテルパールガーデン)
- 6/28 佐賀県校友会総会
(45名・ホテルニューオータニ佐賀)
- 6/29 山形県校友会総会
(26名・ホテルキャッスル)
- 7/5 岩手県校友会総会
(25名・ホテルニューカリーナ)
- 7/12 秋田県校友会総会
(17名・パーティーギャラリーイヤタカ)
- 7/19 オール立命館神奈川県校友大会
(87名・崎陽軒本店)
- 7/19 富山県校友会総会
(45名・ハレブラン高志会館)
- 7/19 上海今出川会
- 7/20 静岡県校友会総会
(75名・クーボール会館)



大阪校友会年次大会



滋賀県校友会総会



香川県校友会総会



山形県校友会総会



岩手県校友会総会



秋田県校友会総会



オール立命館神奈川県校友大会



静岡県校友会総会

- 7/21 宮城県校友会総会
(44名・仙台ガーデンパレス)
- 7/26 青森県校友会総会
(26名・ウェディングプラザアラスカ)
- 7/26 岐阜県校友会総会
(131名・グランヴェール岐阜)
- 7/26 徳島県校友会総会
(80名・阿波観光ホテル)
- 8/2 宮崎県校友会総会
(75名・ニューウェルシティ宮崎)
- 8/2 愛媛県校友会総会
(110名・国際ホテル松山)
- 8/23 沖縄県校友会総会
(30名・メルキュールホテル沖縄那覇)
- 8/30 熊本県校友会総会
(51名・ピアノコ)



青森県校友会総会



徳島県校友会総会



宮崎県校友会総会



愛媛県校友会総会



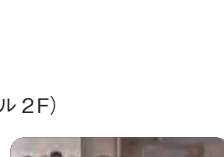
沖縄県校友会総会

地域校友会

- 6/7 福知山校友会総会
(21名・たかた荘)
- 6/14 亀岡校友会総会
(ガレリアかめおか)
- 6/14 東広島地区校友会総会
(32名・中国新聞西条販売所小泉ホール2F)
- 6/21 愛知県校友会東三河支部総会
(ウェステージ豊橋)
- 6/22 中央立命館総会
(楠楓閣)
- 7/5 山口周南地区校友会総会
(60名・ホテルサンルート徳山)
- 7/6 校友会八幡支部総会
(八幡市松花堂美術館別館2F)



福知山校友会総会



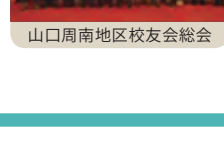
福知山校友会総会



東広島地区校友会総会



愛知県校友会東三河支部総会



中央立命館総会



山口周南地区校友会総会

- 7/19 九州ブロックバーベキュー
(40名・江藤ポートハウス)
- 7/27 奈良県校友会南和会総会
(32名・橿原観光ホテル)
- 7/26 長野県校友会飯伊地区会総会
(湯～眠)
- 8/6 石川県校友会七尾・中能登町校友の集い設立総会
(イル・ピアット ハタダ)



九州ブロックバーベキュー



奈良県校友会南和会総会

職域校友会

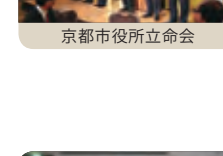
- 6/3 奥村R会発足総会
(15名・さくらさくら梅田店)
- 6/4 高槻市役所槻立会総会
(43名・アンシェルデ・マリアーヂュ)
- 6/4 西宮市役所立朋会総会
(33名・野菜ビストロレギューム)
- 6/27 金沢市役所立林会総会
(金澤玉寿司)
- 7/18 京都市役所立命会
(157名・京都ロイヤルホテル&スパ)
- 7/19 技術士会総会
(中央電気倶楽部)
- 7/26 阿波銀行立命会新入行員歓迎会
(30名・グランドパレス徳島)
- 7/30 立命京滋観光の会総会
(29名・びわ湖花街道)
- 8/8 奈良市役所立命会総会
(ホテル日航奈良)
- 8/8 ひろぎん立命会総会
(69名・むさし土橋店)
- 8/20 兵庫県庁清和会総会
(43名・兵庫県民会館)



奥村R会発足総会



高槻市役所槻立会総会



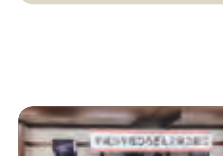
金沢市役所立林会総会



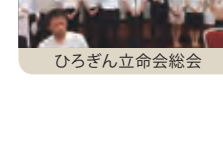
京都市役所立命会



奈良市役所立命会総会



ひろぎん立命会総会



兵庫県庁清和会総会

- 8/26 池田泉州銀行立命会総会
(約70名・スイスホテル南海大阪)



池田泉州銀行立命会総会

学部・学科・ゼミ校友会

- 5/30 建設会広島県支部総会
(リーガロイヤルホテル広島)
- 6/21 経営学部校友会総会
(京都タワーホテル)
- 6/21 機友会京都支部総会
(京都ガーデンパレス)
- 6/28 機友会兵庫支部総会
- 7/5 法学部同窓会総会
(京都ロイヤルホテル&スパ)
- 7/12 国際関係学部校友会総会
(ホテルグランヴィア京都)
- 7/17 関東建設会総会
(大手町サンケイプラザ)
- 7/18 滋賀建設会総会
(琵琶湖ホテル)
- 7/19 法学部商法塩田ゼミOB会
(32名・京都ホテルオークラ)
- 7/20 立命化友会総会
(233名・京都タワーホテル)



法学部商法塩田ゼミOB会

その他の会

- 6/1 エース会総会
(知多半島 佐宗)
- 6/7 ウリ同窓会総会
(70名・ホテルグランヴィア京都)
- 6/20 神保ゼミ鞍馬竹伐採会同窓会
(10名・鞍馬寺)
- 7/12 杉野ゼミ二部経済学部91年度卒同窓会



ウリ同窓会総会



神保ゼミ鞍馬竹伐採会同窓会

希望の光で 被災地を笑顔に

被災した町に希望の光を灯そうと、2年前に始まった宮城県の気仙沼クリスマスイルミネーションプロジェクト。港一帯を光で彩るこのプロジェクトは、今年（公）気仙沼法人会の社会貢献大賞表彰ふるさと活性化部門賞を受賞しました。今回は実行委員長の宮井和夫さんに、活動の目標と復興への思いを聞きました。

プロジェクトを立ち上げた理由は

震災で真っ暗になってしまった気仙沼の“顔”と呼ばれる内湾地区にもう一度光を灯し、震災前とは180度異なるまちづくりに挑戦したい。心に傷を負った子ども達に最高の笑顔をプレゼントしたいという思いから本プロジェクトを立ち上げました。そして何よりも地域の皆様に「被災地でも出来る」という思いをお伝えしたいと強く願っておりまして。もちろん、私も事業者なので、地域経済が少しでも活性化するための一助にしたいとの思いもありました。

活動の内容は

気仙沼湾の湾形をぐるっとイルミネーションで縁取ると共に、近隣の皆様にもご協力を頂戴し、建物にも様々なイルミネーションを彩っています。昨年の点灯式では、歌手のMay J.さんをお呼びし、ライブを開催すると共に、海上に花火を打ち上げました。この他にも期間中に関連イベントを開催するなど、「いかに地域が潤うか」をテーマに活動をしています。

訪れた人からどんな声が寄せられたか

地域の皆様からは、「ありがとう」「よくやってくれた」「これまでの気仙沼には考えられなかった事だね」という有り難い言葉をたくさんいただきましたが、私個人としては「ありがとう」という言葉が一番心に響きました。本当にやってよかったと実感しております。また、これで止められなくなったなど（笑）。

ONE-LINEプロジェクト
実行委員長

気仙沼観光タクシー
代表取締役

宮井和夫 さん
（'99経営）

Kazuo Miyai



被災地の現状について

復興は確実に一步ずつ前に進んでいるとは思いますが、正直進んでいるという実感が薄いのも事実です。例えるならば、ゴールの無いマラソンというよりも、ゴールの無い100m走をずっと走っている感覚でしょうか。3年半近くの間、毎日全力で走っても、どこにもゴールを見出すことが出来ずに、これしか成果が挙げられないのかと自問自答しています。今後は被災バブルという現象も終わりの時を迎え、厳しい経済情勢が待ち構えているのではないかと予想しております。

今後の目標を教えてください

本プロジェクトを日本一のクリスマスイルミネーションイベントにすることを目標にしています。如何に仲間を増やし、継続していくのか。そしてスケールアップしていくのが課題です。最終的には、気仙沼観光の冬の目玉にすると共に、一人でも多くの気仙沼市民を巻き込み、観光産業に対する意識の醸成を目指します。

全国の校友へ伝えたいこと

震災からこれまで我々に寄り添い続けて下さっていることに、心より感謝を申し上げます。皆様の励ましやご支援の数々が我々の大きな活力源となっております。復興への道のりはまだまだ道半ばで、緒に就いたばかりですが、それでも全力で毎日を過ごしていきます。どうか今後も我々に寄り添い、共に歩んでいただきますようお願い申し上げます。是非一度遊びに来て下さい。



ONE-LINE
気仙沼クリスマスイルミネーションプロジェクト

期間 ● 2014年12月開催予定 ※変更の可能性あり

開催エリア ● 宮城県気仙沼市 内湾地域（JR大船渡線 気仙沼駅よりタクシーで約10分）

ONE-LINEプロジェクトでは今年の開催に向けて支援を募っています。

詳細は事務局のHPをご覧ください。

<http://kesenuma-christmas.com>



Photo by T.HIRATA

立命館大学校友会東日本大震災復興支援金について

2014年6月1日～2014年7月31日に以下のみなさまから復興支援金をお寄せいただきました。ご協力いただきましたみなさまに心よりお礼を申し上げます。

個人（卒業年・50音順）※敬称略

藤園 堅正（'44・専文）	三輪 金久（'63・経済）	松尾 誠治（'70・経営）	谷口 正樹（'79・経営）	清水 圭二（'99・産社）
岡田 豊（'49・専工）	比嘉 由孝（'64・法）	松下 孝雄（'70・文）	南家 久光（'79・法）	樋口 大介（'00・文）
大塚 大（'50・専文）	平井 康代（'64・文）	宮崎 昌文（'70・理工）	山崎 盛正（'79・法）	田中 功一（'01・経済）
山本 昭（'50・文）	牧原 重夫（'64・理工）	千久谷照夫（'71・理工）	岡村 伸夫（'80・経済）	疋田 典子（'01・経済）
中桐 真彦（'51・専工）	石田 章（'65・経済）	疋田 純一（'71・理工）	柴田 順夫（'81・経営）	長島 哲郎（'02・経済）
伊東 利武（'52・理工）	石田 洋徹（'65・理工）	糸田川廣志（'72・理工）	白岩 雄二（'82・経営）	江川 寛朗（'03・経済）
西本 五郎（'52・法）	高橋 治子（'65・文）	木井 通子（'72・文）	池田 互隆（'83・理工）	裨田 実人（'03・経済）
石田喜久雄（'53・法）	西垣 義明（'65・法）	田村 哲朗（'72・経営）	高原 浩三（'83・経営）	堀田加奈子（'03・法）
伊藤 年司（'53・経済）	柴田 泰三（'66・経済）	室谷 弘美（'72・法）	田中 成嘉（'83・産社）	水野 崇（'03・文）
貝原 光敏（'53・経済）	辻 信雄（'67・理工）	堀 照雄（'73・法）	坂東 亮二（'83・理工）	西澤 良子（'04・文）
加藤 忠（'53・文）	中北 仁（'67・理工）	池田 弘満（'74・経営）	飛田野 浩（'83・法）	福島 悠子（'04・文）
光岡 正博（'53・法）	藤尾 浩司（'67・理工）	佐々木竹義（'74・経済）	横路 忠（'83・理工）	吉田 祐子（'04・産社）
井上 正（'54・経済）	堀木紀久夫（'67・理工）	目崎礼二郎（'74・経済）	山内 茂靖（'84・法）	吉川かおり（'05・法）
吉川 勉（'54・法）	前垣内克明（'67・法）	山本由布子（'74・文）	金井 康子（'85・文）	石川真理子（'06・院応用）
品川弥太男（'55・経済）	望月 一義（'67・文）	安藤 千秋（'75・法）	長岡 明潤（'85・文）	池田 篤紀（'07・法）
田中 宗一（'55・経済）	榎本 武弘（'68・理工）	城 浩介（'75・産社）	田中 幸治（'86・文）	中野 勇太（'08・産社）
岸本 敏弘（'56・法）	島本 通弘（'68・文）	足立 直隆（'76・産社）	池田 浩規（'87・法）	千種 徹也（'09・経済）
赤井 良男（'57・法）	二階堂元一（'68・経営）	城市 昇（'76・経済）	藤井 秀樹（'87・経営）	松尾 純子（'10・文）
酒谷庄兵衛（'57・経済）	鮎井 憲（'69・経済）	妹尾 一弥（'76・経営）	梅川 健司（'88・文）	河津 康佑（'11・経営）
前野博之助（'57・経済）	唐川 頌三（'69・経営）	田中 秀一（'76・経営）	田中浩一郎（'88・法）	神田久丹保（'11・文）
清水 利夫（'58・理工）	三浦 光夫（'69・理工）	元結 勝（'76・経済）	森 春樹（'89・法）	上野 高生（'13・文）
竹内 弘彦（'58・経済）	森川 清（'69・理工）	森岡 隆範（'76・法）	山本 真司（'90・産社）	小嶋 英資（'14・映像）
堀口 和彦（'58・理工）	吉田 定雄（'69・産社）	久保田博司（'77・経済）	長谷川敬司（'91・産社）	阪本 紘世（'14・産社）
北小路光男（'59・理工）	阿多 修（'70・理工）	宮木 正典（'77・産社）	川村 幸史（'92・理工）	濱田 浩考（'14・院情理）
三角 勝敏（'59・経済）	石野 章（'70・産社）	村田万里子（'77・文）	島田 明子（'92・文）	高橋 正樹（'72・経営入学）
中村 賢二（'60・理工）	大森 利昭（'70・経済）	竹村 公一（'78・経営）	今中 智幸（'94・法）	
若宮 幾馬（'60・文）	倉尾 泰則（'70・経営）	長谷川 力（'78・文）	拝師 正泰（'95・経済）	
竹脇敬一郎（'61・文）	多村 典明（'70・経営）	村上 秀則（'78・理工）	佐織 素代（'97・文）	
岡本 弘昭（'63・法）	橋本 重明（'70・法）	石合 隆子（'79・文）	寺井 啓人（'98・文）	

※卒業年、学部・研究科名は、校友会に登録されている情報に基づき記載しています。なお複数の学部・研究科を卒業・修了されている場合は、最終歴を記載しています。

団体・グループ・企業（50音順）

静岡県校友会

毎日企業（株）

奈良県校友会

ヨガールーム木原

合計 17,700,480円 2014年7月31日現在（個人 6,122名 13,068,926円 団体・グループ 184件 4,631,554円）

立命館大学校友会 2014年度東日本大震災復興支援事業計画について

このほど2014年度復興支援事業計画を以下のとおり確定いたしましたので、お知らせいたします。

2014年度復興支援事業の実施にあたりまして、引き続き、全国の校友のみなさまによる力強いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 目的

- ①校友の校友による校友のための復興支援とし、被災地・日本の復興に繋ぐこと。
- ②被災地の校友（校友会）のニーズに応え、校友会全体の活動の活性化・組織の強化に繋ぐこと。

2. 支援の対象

主として、岩手県、宮城県、福島県において被災された校友の方々

3. 事業の概要

事業A：被災地の校友（校友会）と全国の校友（校友会）とを繋ぐ「場」と「機会」の創出

①webサイト上での情報の発信と交換の場の創出と展開

復興支援に関する情報を発信し交換することを目的とした「立命館大学校友会東日本大震災復興支援情報サイト」を開設しています。

②「オール立命館校友大会2014 in 岡山」への被災された校友の招待

2014年10月25日（土）に開催する「オール立命館校友大会2014 in 岡山」に、東日本大震災の被害が特に甚大であった岩手県、宮城県、福島県に在住校友の皆様（各県より10名様まで、合計30名様）をご招待します。

上記以外の立命館大学校友会（校友会）による東日本大震災復興支援活動に関するご相談やご不明点がございましたら、立命館大学校友会事務局（フリーダイヤル 0120-252-094）までご連絡ください。

事業B：復興支援金の募集と推進、配分

立命館大学校友会では、東日本大震災で被害を受けた校友が多数在籍している岩手県校友会、宮城県校友会、福島県校友会による復興支援活動の支援を目的とした「復興支援金」を募集しています。受付状況の推移に伴い、適宜、配分を決定します。

ご協力いただいた個人、団体・グループの芳名を会報「りつめい」に掲載（個人については、氏名、卒業年、学部・研究科名を公表）させていただきます。ただし、「立命館大学校友会東日本大震災復興支援情報サイト」上では、団体・グループ名のみとし、個人については人数のみを公表します。

※2011年3月24日より被災された校友の方々に対するお見舞い金とすることを目的とした「義援金」の募集は2013年7月31日をもって終了しました。1,200,000円を超える義援金は、岩手県校友会、宮城県校友会、福島県校友会を通して東日本大震災で被害を受けた校友個人に配分いたしました。みなさまからの温かいご支援に感謝いたします。

事業C：東北応援ツアーの実施

2014年の復興支援事業の一環として、全国の校友を参加対象とした「立命館大学校友会東北応援ツアー」を実施予定です。（参加対象は立命館大学の校友のみ）

趣旨・目的は以下のとおり。

- ①被災地（特に被災地の校友が経営・勤務する店舗や施設）を客として訪問することで被災地の活性化に貢献すること。
- ②全国の校友が被災地を訪問し、また被災した校友と交流することを通して東日本大震災について学ぶ契機とすること。

北九州校友会ウェルカムパーティ 2014 が開催されました



2014年6月28日(土)、北九州市内のあそびかっぽう華柳にて「北九州校友会ウェルカムパーティー 2014」が開催され、平成卒校友だけで約30名の校友が参加した。また2014年卒業の新卒校友も6名が出席し、二次会、三次会まで続く盛り上がりを見せた。当日の詳しい様子は、北九州校友会のホームページやフェイスブックに記事が掲載されているので、ぜひホームページをご覧ください。北九州校友会で

は来年も「ウェルカムパーティ」を開催する予定にしている。
また「第二回グランドゼネレーションパーティー」(2014年9月20日開催)の準備も進められていた。主に65歳以上の校友を対象としたこのパーティーでは、学生時代を思い出し、当時は懐かしんでもらおうと写真や映像を紹介する企画が準備された。2年前に初めて開催された際には、参加者から大変好評を得たパーティーで、北九州校友会には、次々と今年の開催に関する問合せが寄せられたという。全国的にも類を見ない企画だが、先輩校友に懐かしいひと時を味わいながら楽しんで頂こうと、様々な企画が練られてきた。開催の様子は今号の誌面ではお伝えできないが、北九州校友会ホームページなどでの報告、そして次の開催が期待される。今後の企画、パーティーに興味、関心をお持ちの方はぜひ北九州校友会までお問い合わせを。

【北九州校友会HP】<http://alumni.ritsumei.jp/kitakyusyu/>

リコネクト関西女子会「テーブルマナー講座」開催



2014年7月19日、ウェスティンホテル大阪にてリコネクト関西女子会による5回目の企画「テーブルマナー講座」が開催され、20代の女性校友20名が参加した。リコネクト関西女子会では、関西エリアに在住、または勤務している20～30代の若手女性校友を対象に、女性校友たちが互いに意見を交換し、より豊かな生活をおくことをテーマにした企画を開催してきた。今回の企画は、「大事な場面で恥ずかしくない食事マナーを身につける!」をコンセプトに、ホテルの料理や雰囲気を楽しみながら、食事のマナーを学ば

うと開かれた。参加者は食事マナーの専門家から丁寧なレクチャーを受け、時に絵で料理を図解しながらの分かりやすい説明で、戸惑うことなく実践していった。企画は終始和やかに進み、気軽に質問し学ぶことのできる雰囲気の中、魚の食べ方など少し難しい内容も次々と身につけていった。また、ホテルのシェフによる説明を聞きながら堪能する料理やデザートのに、参加者たちは笑顔を見せていた。参加者からはこの企画に対して、「結婚式などにご招待頂く機会も多いため、素敵な空間で役に立つマナーを学べて良かった」「同世代の女性と接する機会が少ないので楽しかった」「同じ大学出身者(校友)と話せて良かった」といった声



た声寄せられた。リコネクト関西女子会では、今後も同様の趣旨で企画を開催する予定にしている。



第37回 2014年度 宮城県校友会 総会・懇親会が開催されました



2014年7月21日(土)、宮城県仙台市内の仙台ガーデンパレスで開催された「第37回 2014年度 宮城県校友会 総会・懇親会」には、来賓・校友あわせて44名が参加した。総会は千田芳文副会長('74文)の司会で始まり、はじめに下村泰雄会長('61法)が挨拶に登壇した。下村会長は宮城県の東日本大震災の現状や校友大会の東北地区開催、そして立命館大学校友会による復興支援事業に対する感謝について述べた。続いて小木裕文立命館副総長から挨拶あり、学園の多様でグローバルな学びの場づくりや取り組みなど、大学の現状についての話があった。次に、校友会本部を代表して福元寅典副会長('72経済)が「未来人材育成基金」の報告、そして継続的な支援を呼びかけた。また議事では2013年度活動と収支決算報告などの報告があり、全会一致で承認された

後、新体制の役員が紹介された。この後、復興支援特別委員会前委員長の辻寛校友会顧問('62法)による「大震災に学ぶ ～阪神・淡路大震災から20年、東日本大震災から4年～」をテーマにした講演が行われた。講演の中で、阪神淡路大震災発生時に兵庫県庁で本部長として復興支援に携わった経験を交えながら、震災復興の課題などについて話し、参加者たちは熱心に耳を傾けていた。



立命館大学 大学院入試説明会 2014

11月10日(月)・11日(火) びわこ・くさつキャンパス
11月16日(日) 立命館大阪梅田キャンパス
11月30日(日) 衣笠キャンパス

お問い合わせ

衣笠大学院課 TEL 075-465-8195
E-mail: gspr@stritsumei.ac.jp

大学院に進学した校友のご紹介



鍋島 充さん
テクノロジー・マネジメント研究科
博士課程後期課程 在学中
三菱電機株式会社
電力・産業システム事業本部
電力プラント建設センター 勤務

技術者としてマネジメントを行うなかで、経営の知識を身につける必要性を感じたため、テクノロジー・マネジメント研究科 博士課程前期課程に入学しました。これまでは目の前のビジネスについて既存のフレームワーク等の視点をもとに考えることが中心でしたが、研究活動を通じて他の環境や条件であればどのようなアプローチがありうるのか、という自らの視点をもって考えられるようになり、より客観的に物事を捉えることが出来るようになりました。

私の仕事は海外での仕事がメインになりつつあるため、これまで網羅的に学んできた「技術経営」について、さらに自分の専門分野であるインフラ輸出について継続して研究を続けたいと考え、後期課程に進学しました。前期課程で基礎を学び、さらに後期課程で新たなフレームワークを作っていく、これが同時にできるのが立命館大学のテクノロジー・マネジメント研究科です。研究活動は仕事とは全く別の活動と捉え、「学校」という仕事とは別の環境に自分を置いておくことで、仕事にも良い影響を与えていると感じています。

社会人になって、もっと勉強しておけばよかった、と思っている方は少なくないはずです。立命館大学は、奨学金制度等が充実しており、学ぶ気持ちのある人にとって優しい大学です。ぜひ、学問の世界に飛び込んでほしいと思います。



野洲 達史さん
応用人間科学研究科
修士課程 在学中
滋賀県立成人病センター
リハビリテーション科 勤務

理学療法士として病院に勤務しながら大学院に通っています。専門職として働いていると専門的な知識や常識から価値観を広げることが少なくないと感じていましたが、様々な職種、年齢層の学生や留学生と出会い、共に学んだことが、私の臨床観を大きく変えてくれたように思います。

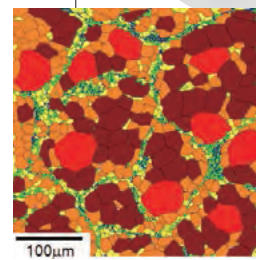
学部ですですである知識を履修することが中心になりますが、社会に出て求められる能力は「今ないものを考える能力」だと思います。大学院での学びは、臨床現場での支援のあり方や専門職のあるべき姿、自身の立ち位置を振り返り、冷静に見直し深めるきっかけとなりました。そして、その経験が仕事でも活かしていることを実感しています。

近年、患者様の権利擁護を前提としたアセスメント能力や治療技術の提供等、病院職員に求められる力量がより高度なものになってきていると思います。知識を整理しながら、理論やデータに基づいて患者様の自己決定を支援する能力や、病院外部へ向けても情報を発信していく能力を身につけていきたいと考えています。

仕事と家庭、研究の両立は時間的・体力的に厳しいのですが、職場や家庭の後押しもあり、時間をできるだけ有効に活用しながら研究を進めています。また、修了後も職場での臨床研究だけでなく、大学との共同研究等を通じて研鑽を続けていきたいと考えています。

“常識”を超えろ！ 硬くてしなやか、新しい金属材料を開発

金属は強度を上げるとしなやかさがなくなり、もろくなる。逆にしなやかさを上げると、強度が失われる。そんな常識を、飴山教授が覆した。硬くてしなやかな金属を、ナノテクノロジーを活用した研究で開発したのだ。相反する性質を併せ持つ革新的な金属は、どのようにして開発されたのか？



調和組織制御により作製した純チタン製ボルト・ナットとその顕微鏡写真。微細結晶粒のネットワーク構造が粗大結晶粒を包み込んでいる様子がわかる。



Profile Kei Ameyama

1986年 京都大学大学院工学研究科博士課程 単位取得退学。工学博士
1979年 信州精機(株) (現：セイコーエプソン(株))
1986年 立命館大学理工学部助手
1992年 立命館大学理工学部助教授
1996年 同 教授 (現職)

研究テーマはナノ・メゾ調和組織制御による高機能性材料の創成など。1996年には世界最高性能のオーステナイト系ステンレス鋼を発明。特許出願済み。1987年 金属組織写真奨励賞 受賞。2001年 西山記念賞、第49回日本金属学会論文賞 受賞。趣味は料理。

スーパーで見かける、みかんのネットを想像して欲しい。ものを入れると形を変えて伸びる。しかし何も入れていない時、一本のひも状になってなかなか強い。こんな性質を持った、全く新しい金属が立命館大学の研究室から創り出された。「調和組織材料」という名の立命館ブランドの新材料だ。

金属の硬さとしなやかさを両立するには、これまでは種類の違う合金元素を混ぜるなどの方法がとられていた。しかし単一の金属だけでは、開発が期待されながら誰も成功していなかった。飴山教授は金属の粉末を粉碎装置でこねてから型に入れて焼き固めて、結晶粒同士を結合させる、というごく簡単な方法で、それを可能にした。最も成果が出たのはチタンで、強度が1.5倍、しなやかさは2.2倍に上がったという。

JST（科学技術振興機構）の大型研究プロジェクトとして始まったこの研究は、今、研究成果が続々と海外の専門誌に発表され、注目を集めている。共同研究相手のパリ大学の研究グループでは、フランス政府資金により“RITSUMEIKAN”ブランドのこの材料の研究プロジェクトをこの秋にスタートさせる。

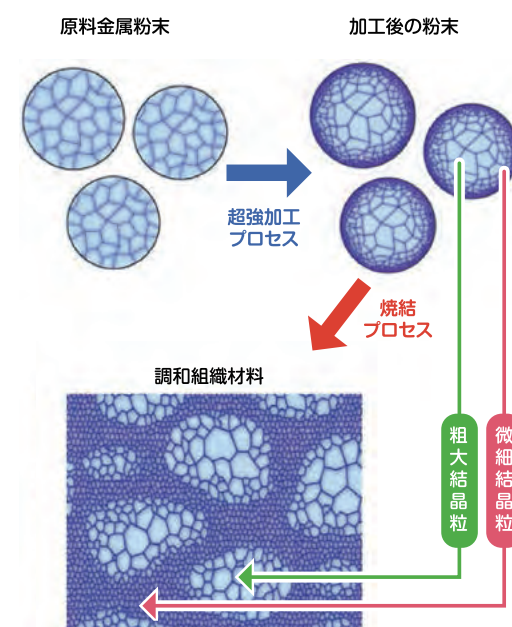
「きまぐれから予想外の結果が出たんです」

「粉末粒子の中の結晶をナノレベルにまで小さくする作業で、本来は粒子を均一にしようと完全に加工する。ある時その加工を途中で止めたところ、結晶の大きさがまちまちの状態となり、強さと粘り強さの両方において満足するものができました」。細かい結晶粒が強さを発揮し、粗い結晶粒が粘りを保つということだ。これを飴山教授が、理解しやすい“じゃがいも料理”に例えて説明してくれた。

理工学部 飴山 恵 教授

「ポテトをつぶす時に、完全につぶしたクリーム状のマッシュポテトにすると、粘りはあるが硬さがない。しかし途中でつぶす作業を止めてポテトサラダ状にすると、芯が残って歯ごたえもあり、ねっとりした粘りも感じられる」…ということ。なるほど！

さてこの加工方法、さぞかし試行錯誤の末…と問うと、「実は偶然の発見なのです。好奇心から途中で加工を止めてみたらどうなるかな?と思ったことがきっかけです。私の研究室では、常に好奇心を持つよう教えてきました。常識の枠にとらわれずチャレンジすること。やってみなきゃわからないですから」。均一になるまで加工するという既存概念にとらわれなかった自由な発想が、成功につながった。



飴山教授の研究チーム紹介



国際色豊かな飴山研究室では、最先端の設備を駆使して院生や学部学生が研究に励んでいる。これまでは材料を高強度にする方法、セラミックスのような硬くもろい材料をなめらかに成形する方法、複雑な結晶構造を高精度で解析する方法など、世界で初めての成果を数多く発表してきた。「先生からは『自由に楽しくやりなさい。研究に失敗はない。それが一つの結果であり、新しいアイデアにつながるのだから』と教えられています」とメンバーの一人。師匠のDNAは、しっかり受け継がれている様子。



医療、航空宇宙分野での応用へ

この金属、加工方法も簡単でこれまで使われていたどんなものにも応用できる上、新たな可能性も限りなく広がっている。「まずは医療分野での応用を目指したいと思っています。金属部品を小型化、軽量化することでより小さな医療器具をつくることができるでしょう」。人工関節やインプラント、また心筋梗塞などの治療で血管内に入れて拡張する医療器具、ステントなどが一例だ。より小さい器具ができれば、血管の細い子どもや高齢者の患者に対応できる。医療分野だけではない。車や航空機の部品の小型化、軽量化が可能になれば燃費の向上など省エネルギーにもつながる。「今後も新しいことにチャレンジしていきたいですね。この金属も実際に使われることが大切です。それは日本だけではなく、発展途上国でも作れて使えるようにならなければいけません。研究を通して、人間の生活が豊かになればと願っています」。現在、海外のいくつかの大学と共同研究が進んでいるほか、すでに企業からの問い合わせも寄せられているという。実用化に向け、着実に動き出している。



超小型ボルト



インプラント



ステント

SPORTS スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
 075-465-8167

日本拳法部男子

全国大学選抜選手権大会で2年ぶり 2度目の全国制覇

(6月1日 早稲田大学記念会堂)



日本拳法第27回全国大学選抜選手権大会において、日本拳法部(男子)が、2年ぶり2度目の全国優勝を果たしました。今大会は、全国の強豪校37校がエントリーするトーナメント方式で争われ、各試合は、各校から5人がエントリーする5人制対試合(3分間3本勝負)で行われました。井上貴文監督は「優勝を狙うという強い気持ちで奮起した結果、2回目の全国連覇を達成することができた」と述べました。また、個人では主将の能島翔悟さん(政策4)が今大会の最優秀選手賞に選ばれました。

陸上競技部

第16回アジアジュニア陸上競技選手権大会で本学学生が活躍

(6月12日～15日 台北(台湾))



向かって左が鍵本さん

第16回アジアジュニア選手権大会10,000m競歩において、河添香織さん(政策1)が50分38秒05の記録で金メダルを獲得。また、110mハードルでは、鍵本真啓さん(スポ健1)が銀メダ

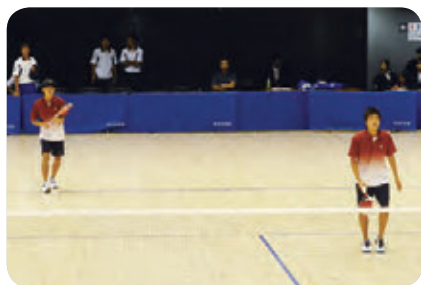
ルを獲得しました。鍵本さんはこれまでの努力と栄誉が讃えられ、草津市民スポーツ大賞を受賞しました。今後も世界を舞台にした2人の活躍が期待されます。

ソフトテニス部男子

第34回全日本大学ソフトテニス王座決定戦で3位入賞

(6月24日～26日 東京体育館)

第34回全日本大学ソフトテニス王座決定戦において、ソフトテニス部男子が3位入賞を果たしました。今大会は、全国各地において春季リーグの優勝大学に大韓民国、中華台北から招待した2大学を合わせた12大学が王座を競いました。ソフトテニス部男子は、4ブロック(1ブロックは3大学)で予選リーグを戦い、上位4大学が決勝トーナメントに進む形式で行われました。試合は、予選リーグで札幌学院大学、中華台北代表の臺北市立大学に勝利し、準決勝進出を決めました。決勝トーナメント準決勝では日本体育大学に敗れたものの、3位決定戦で大韓民国代表の忠北大学校に接戦の末勝利し、3位入賞を決めました。



ホッケー部

第33回全日本大学ホッケー王座決定戦で男子が優勝!女子が第4位を獲得!

(6月27日～7月1日 立命館大学校野ホッケー場、天理大学親里ホッケー場)

第33回全日本大学ホッケー王座決定戦において、男子部が2年連続5回目の優勝で2014年度王座のタイトルを獲得するとともに、女子部が第4位を獲得しました。男子部は、天理大学との決勝戦で、2-2の引き分けのままゴールデンゴール方式の延長戦へ突入し、延長戦

も0-0で終える接戦となりましたが、タイムブレイクの末、シュートアウト戦において、2-1で勝利を収め、優勝を決めました。大会の最優秀選手には田中世蓮さん(産社4)が選ばれました。女子部は、惜しくも準決勝で東海学院大学に敗れ、大会4位で大会を終えました。



弓道部

第26回全国大学弓道選抜大会で女子団体準優勝、男子団体3位入賞

(6月28、29日 東京・明治神宮至誠館弓道場)

第26回全国大学弓道選抜大会において、弓道部女子団体が準優勝、男子団体が3位入賞を果たしました。同時に、武道では最高の名誉とされる型と技能について最高の評価となる射道優秀賞を男女ともに受賞、男子は5年ぶり2回目、女子は4年ぶり5回目の栄誉を獲得しました。男女ともに団体予選を通過。女子は、団体決勝トーナメントでは高的中をキープし決勝まで進出しました。決勝では、同じ関西地区の大阪経済大学と対戦し、あと一歩及ばず準優勝となりました。男子は団体決勝トーナメント準決勝で法政大学と対戦し、惜しくも敗れましたが、3位決定戦で慶應義塾大学に勝利し、3位入賞を果たしました。

第62回全日本学生選手権で3年ぶり3回目の女子団体優勝、個人でも宮本葵さんが優勝!

(8月12日～14日 グリーンアリーナ神戸)

第62回全日本学生弓道選手権大会において、弓道部女子団体が3年ぶり3回目の優勝を果たしました。予選では高い的中を上げ、決勝トーナメントへ

進出。決勝トーナメントの3回戦では早稲田大学に勝利し、決勝戦の法政大学では10中対9中の1本差で勝利しました。女子団体はさらに弓道の伝統技法を高いレベルで習得している評価を得て、射道優秀賞も同時に受賞。女子個人戦においても、団体優勝に貢献した宮本葵さん(情理3)が優勝、内山知美さん(文1)が準優勝し、本学史上初の女子ワンツー受賞を獲得しました。



全日本学生選手権を制した弓道部女子のみなさん

CULTURE/ART 文化・芸術

問い合わせ先：学生オフィス
 075-465-8167

珠算部

七タそろばんワールド2014で6連覇を達成

(6月29日 三重高等学校)



七タそろばんワールド2014において、団体総合競技で6980点を獲得して優勝し、同大会6連覇を達成しました。個人では、特別競技 読上算 高校・一般の部で豊島寛貴さん(経営1)が優勝するなど好成績を上げました。今後も全国レベルの大会での珠算部の活躍が期待されます。

囲碁研究部

第50回全日本女子学生本因坊決定戦で塚田花梨さんが優勝、呉理沙さんが準優勝

(8月8日～10日 いすみ囲碁ジャパン)

囲碁のアマチュア女子学生棋士日本一を決める第50回全日本女子学生本因坊決定戦において、塚田花梨さん(産社1)が優勝、呉理沙さん(関関4)は昨年に引き続き準優勝を果たし、立命館大学の学生で優勝、準優勝を獲得する快挙を達成しました。



初優勝を果たした塚田さん



対局中の呉さん

CAMPUS ACTIVITIES 学生活動

問い合わせ先：学生オフィス
 075-465-8167

立命の家2014 ～トレジャー～キミの夢を見つけよう!を開催

(8月20、21日 びわこ・くさつキャンパス)



学術系団体やプロジェクト団体の学生が組織・運営する実行委員会のもと、近隣にお住まいの小学生を対象に、科学や英語、ものづくりの楽しさを知ってもらうことを目的として、「立命の家2014～トレジャー～キミの夢を見つけよう!」を開催しました。今年で15回目の開催となりました。本企

画には、10の学生団体から参加した実行委員や企画スタッフなど総勢137名の学生が準備に携わってきました。大切にしている宝物のことを考えるだけでわくわく夢中になるのと同じように、各企画を小学生に楽しんで欲しいという想いを込め、「トレジャー～キミの夢を見つけよう!」というサブテーマを設定。当日は、電車や周りの風景を紙で製作するペーパークラフトや手作りモーター制作などの様々な企画が行なわれ、子どもたちは、普段の小学校での勉強とは一味違った「学び」を体験し、「学ぶことの楽しさ」を実感しているようでした。

257号学生イベント&スポーツ掲載記事の内容の誤りに関するお詫びと訂正

前号257号の学生イベント&スポーツで掲載いたしました記事「ソフトテニス部男子 関西1部リーグで9年ぶりに優勝」のタイトルおよび内容に誤りがございました。以下のとおり、謹んで訂正いたしますとともに、ソフトテニス部関係者ならびに読者の皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

●訂正後の記事

ソフトテニス部男子

関西学生春季1部リーグ戦で2年ぶり3回目の優勝

(5月3、4日 マリンテニスパーク・北村テニスコート)

関西学生春季1部リーグにおいて、ソフトテニス部男子が、4勝1敗で2年ぶり3回目(春秋通算7回目)の優勝を果たしました。リーグ戦初日は、大阪体育大学に4-1、同志社大学に3-2、関西学院大学に3-2で勝利しました。2日目の関西外国語大学には1-4で敗れましたが、優勝のかかった天理大学との一戦では、選手と部員が丸となって攻撃し続ける姿勢を誓い臨んだ結果、3-2で勝利し優勝を決めました。



キャンパスアジア国際フォーラム 「アジアの未来を切り拓く 人材育成を目指して」を開催

7月5日（土）、大阪国際交流センターにおいて、立命館大学・広東外語外貿大学（中国）・東西大学校（韓国）は、日中韓キャンパスアジアフォーラム「アジアの未来を切り拓く人材育成を目指して」を開催しました。このフォーラムでは、約3年間の「キャンパスアジア・プログラム」の到達点を広く社会に発信するとともに、本プログラムを実例に、アジアを着て言い世界で活躍するグローバル人材育成に向けた課題と展望を紹介しました。

当日は、講師に聖学院大学学長である姜 尚中氏をお迎えして基調講演を開催。その後3大学の学生によるプレゼンテーション、3大学の学長によるパネルディスカッションが行なわれました。900名を超える来場者で盛況の中閉幕しました。



学生によるプレゼンテーションの様子



3大学間で「キャンパスアジア・プログラム」常設化に向けた合意書が調印されました

オーストラリア国立大学と 立命館大学「共同学士課程」 設置の検討について覚書を締結

7月8日（火）、立命館大学とオーストラリア国立大学※（以下ANU）は、「共同学士課程」設置の検討について、覚書を安倍晋三首相立会いのもと締結しました。この「共同学士課程」は、異なる2大学が共同で学士課程カリキュラムを一から開発・運営を行い、両校の承認のもとで

学士号を授与するものであり、海外大学と日本の大学との共同学士課程の設立は日本国内で初めての取り組みとなります。安倍首相は、両大学の覚書締結にあたり、「両大学の学生交流を主とした覚書締結を大変うれしく思っており、政府としても支援をしていきます。これを機に日豪間の若者の交流が活発となることを期待しています」と述べられました。

※オーストラリア唯一の国立大学であり、世界有数の研究大学。Group of Eightや環太平洋大学協会（APRU）のメンバー。2013/2014のQS世界大学ランキングでは総合27位。2013-2014 Times Higher Educationの世界大学ランキングでは総合48位。



県立神奈川近代文学館および 公益財団法人神奈川文学振興会と 立命館大学との連携協力に関する 包括協定を締結

6月5日（木）、県立神奈川近代文学館および公益財団法人神奈川文学振興会と立命館大学は、「近代文学」を中心とする教育・研究・文化の振興、人材育成、その他の諸活動の発展に向けた連携協力を推進することを目的とし連携協力に関する包括協定を締結しました。県立神奈川近代文学館および公益財団法人神奈川文学振興会が大学と協定を結ぶことは今回が初の事例となります。協定締結により、県立神奈川近代文学館が持つ、国内屈指の規模の近代文学の資料館としての強みを活かし、立命館大学学生へのアクティブラーニングなど実践教育の推進や、三者の研究者同士による共同研究を通じた交流、組織同



士での包括的な連携枠組みを創設することにより、学生、院生、研究者の教育・研究交流を通じた相互の創発や、近代文学に関する研究の高度化、研究資源の豊富化を実現することを目的としています。

株式会社ロフトと 学校法人立命館との 連携・協力に関する包括協定を締結

8月1日（金）、学校法人立命館と株式会社ロフトは、人材育成、地域振興等を目的に、連携・協力に関する包括協定を締結しました。この協定を通じ、立命館は、児童・生徒・学生たちの新たな学びの場をプロフェッショナルの現場に設けることで、それぞれが主体的に課題を発見し、解決に取り組む機会を生み出したいと考えています。そして、自ら課題を見つけ、行動に移していく経験を積むことで主体的な人材育成を目指します。また、株式会社ロフトは、児童・生徒・学生・教職員と交流し連携することで、若者のリアルニーズの把握、マーケット変化への対応に加え、教育機関とのコラボレーションで市場のインサイト発見を目指します。今回の協定を機に、京都ロフトと立命館大学は、日本初の産学連携サークル「LOFT部」を結成し、立命館大学の学生やロフト社員が、商品開発や売り場開発、キャンペーン設計などを通じて、新しい価値の創造に取り組みます。



日本経済新聞社・立命館大学 留学生を対象にした アジア進出企業のトップによる キャリア連続講座を開催

立命館大学キャリアセンターでは、日本経済新聞社と共同で外国人留学生を対象にしたキャリア支援講座「アジア進出企業経営者による連続講演・座談会～求む！グローバル人材～我社で描くキャリアデザイン～」を開催しました。立命館大学には約1,300人の外国人留学生（正

規）が在籍しており、そのうち日本企業への就職を希望する学生が年々増加しています。本講座では2015年4月に本学が大阪いばらきキャンパスを開設する大阪に本社を置く企業の中から、独自の技術や商品で、アジア諸国を中心としたグローバル市場に、積極的にビジネスを展開し、外国人留学生の採用実績のある、もしくは採用を積極的に検討している5社の企業の経営者を講師にお招きして、求めるグローバル人材像や経営方針についてビジョンを語っていただきました。講義の中では、留学生との座談会や学生と講師との卒直な意見交換なども行なわれました。



西日本の私立大学では唯一。 文部科学省「平成26年度グローバル アントレプレナー育成促進事業」 に立命館大学が採択

立命館大学は、文部科学省「平成26年度グローバルアントレプレナー育成促進事業」に採択されました。同事業は今年度新たにスタートするもので、海外機関や企業等と連携しつつ、起業に挑戦する人材や、産業界でイノベーションを起こす人材の育成プログラムを開発・実施する大学等を支援することを目的としています。全国の国公私立大学から55件の応募があり、13大学が採択されました（うち、私立大学は早稲田大学、慶応義塾大学、立命館大学の3校のみ）。本学が採択された「イノベーション・アーキテクト養成プログラム」は、連携企業からのメンバーとともに、学内外の研究開発シーズや学内・連携企業などからのニーズに基づくテーマについて課題解決に向けた活動を行います。

祇園祭 デジタル・ミュージアム展 2014を開催

7月23日（水）から25日（金）にかけて、京都文化博物館 別館ホールにて「祇園祭 デジタル・ミュージアム展2014」（主催：立命館大



学アート・リサーチセンター）を開催しました。今回は、博物館や個人が持つ写真、絵画、図画などの史料や、新たに計測したデータなどから祇園祭に関する情報を取り出し、山鉾巡行での「振動」、「音」、「感触」、「視覚」をバーチャルリアリティの技術を使って再現しました。期間中は、山鉾巡行の振動や音を仮想空間で体験できる作品や、山鉾の懸装品の表面の凹凸の触感をデジタル技術でバーチャル体験できるシステムなど、祇園祭を五感で疑似体験できるデジタル作品が多数展示されました。

100円朝食レシピコンテスト グランプリ決定戦開催！ 新入生が趣向を凝らした朝食を調理

6月30日（月）、びわこ・くさつキャンパス（BKC）において「100円朝食レシピコンテスト グランプリ決定戦」が実施されました。このコンテストはBKCのオリタール団が新入生に朝食の大切さを伝えとともに、自炊するきっかけにほしいという想いを込めて企画されたものです。70近く応募のあった中から書類審査を通過した12クラスの代表が栄養調理実習室・RecO STUDIOで調理を行い、今回協賛いただいている父母教育後援会の委員の皆さんや、審査の結果、スポーツ健康科学部Cクラスの滋賀県の特産野菜であるほうれん草を使ったカレー「Spinach curry and orange yoghurt ☆」がグランプリに輝きました。



グランプリに輝いたスポーツ健康科学部Cクラスのみなさん

映像学部学生がお化け屋敷を プロデュース 学生たちが大学で学ぶ アートやテクノロジーを融合した 「七十三軒目の家」を開催

7月10日（木）から15日（火）にかけて、映像学部で映像制作を学ぶ学生や、他大学で舞台装置・照明、建築を学ぶ学生等で結成された学生団体「京都お化け屋敷大作戦実行委員会」が京都三条会商店において、お化け屋敷「七十三軒目の家」を開催しました。地域を盛り上げることを目的に、大学で学ぶ専門分野の知識を活かし制作されたお化け屋敷には、SNSで情報を入手した大学生や中高生等が会場に訪れました。6日間の来場者は1100人を超え、お化け屋敷関連メニューを提供した店にも集客効果がありました。



経済学会学生委員会が 「Peachで行く！旅コンテスト 優秀論文発表会」を開催

8月4日（月）、BKCにて経済学会学生委員会主催の「Peachで行く！旅コンテスト優秀論文発表会」が開催されました。本企画は同委員会がPBL（Project-Based Learning：課題解決型学習）のひとつとして企画したものであり、Peach Aviation株式会社様（以下Peach社）のご協力を得ながら今年5月から取り組んできた。具体的には、LCC（Low Cost Carrier：低コスト航空会社）の代表的企業であるPeach社を利用した旅プランを、「費用」「所要時間」「現地滞在時間」の比較など、経済学部での学びを



活かして提案論文を作成する企画です。当日は、163組から選抜された9組が優秀者として、上記「優秀論文発表会」にて成果を発表。特に上回生からは非常にユニークな視点からコスト分析を行い、Peach社員をうならせるようなプランの提案も見られました。

地元産の新鮮で旨みの詰まった野菜を販売！ 「地産地消キャンペーン in BKC」を開催

7月7日（月）から11日（金）にかけて、BKCユニオンスクエアショップ前にて、地元産の新鮮な野菜の販売が行なわれました。この取り組みは、立命館大学グローバル・イノベーション研究機構食料研究拠点と立命館生活協同組合が、18歳～22歳を中心とした若年者層の野菜の購買動向の調査及び滋賀県産の野菜や米の地産地消促進を目的としています。JA草津市（草



津市）、JAおうみ富士（守山市）、JAレーク大津（大津市）の協力を得て、その場で食べることの出来る冷やしトマトやきゅうりなど数種類を、ばら売りや袋詰めなどのさまざまな形態で販売しました。

お疲れさま、オデンセ2号 ～岩手県宮古市に学生が建築した 仮設集会所が復興事業の 区画整理により撤去へ～



東日本大震災で津波の被害を受けた岩手県宮古市鉾ヶ崎に理工学部建築都市デザイン学科の学生たちが建築した仮設集会所「ODENSE 2号」が復興事業による区画整理により、撤去されることとなり、7月12日（土）には約30名が集まり、感謝祭を開催しました。学生たちも京都から駆けつけ、地域住民の方々と思い出話に花を咲かせました。「ODENSE 2号」は解体されますが、その木材は別の復興支援事業やプロジェ

クトに活用される予定です。岩手県宮古市での学生たちの活動は今後も様々に続いていきます。

夏のオープンキャンパス2014を開催

8月2日（土）、3日（日）の2日間、衣笠キャンパス、BKCにて、立命館大学オープンキャンパス2014を開催しました。両日とも小雨が降る天気となりましたが、2日間で総数16,737名もの受験生・保護者らが立命館大学を訪れました。立命館大学の魅力を体感してもらうため、全13学部がそれぞれの教育内容や正課・課外を通じた学生の成長をリアルに伝えようと、様々な企画を実施しました。学部紹介や入試説明会、模擬授業をはじめ、映像学部の立命館松竹スタジオ・撮影所見学や、薬学部の軟膏・水剤作りなどをする調剤体験ツアー、薬用植物園や生薬標本室を回る漢方ツアーなど、学部ごとに特徴のある企画に、多くの受験生・保護者が積極的に参加していました。



+R 人

プロスポーツビジネスの 現場で得たリアルな経験

渡辺 健太 さん（スポーツ健康科学部2年生）

四国4県を活動地域とするプロ野球独立リーグ「四国アイランドリーグplus」が、9月15日（月・祝）に、滋賀県大津市にある皇子山球場で、京滋地区で初めての公式戦となる「徳島インディゴソックス 対 香川オリーブガイナーズ」を開催した。この一戦は、スポーツ健康科学部の学生を中心にした立命館大学の学生10名を含めた4大学20人の学生が、企画・広報・営業部門の3部門に分かれ、運営に関与し、集客を行い、最終的な収支の黒字化を目指して活動を行うかたちで開催された（※）。

営業部門で9名のメンバーをまとめるマネージャーを務めた渡辺さんは、スポーツ健康科学部の種子田義教授から「他のインターンシップでは体験できない経験ができる」との紹介をきっかけに応募。まず始めに、四国アイランドリーグの方からレクチャーを受け、全部門で話し合い、必要となる運営経費を見積もり、チケットや物販の賃料等から当日得られる収入を計算し、スポンサーから獲得しなければならない協賛金などの具体的な目標金額を設定した。しかし、メンバーに営業経験はなく、何から始めればよいのかさえわからなかった。きっかけを求めて滋賀や京都の地元企業を中心に100社以上に電話。しかし、すぐに切られる、繋がっても取り合ってもらえない、訪問も叶わない状況が数日間続いた。「地元の活性化」という趣旨で地元企業に頼めば、数万円程度はすぐに提供してくれると思っていたが、1円も無駄に



記者発表の様子

しない徹底したコスト意識はメンバーにとっ



何度も行われた会議の様子

て厳しいものだった。そこで、企業に興味を持ってもらうには何が必要なのか。指摘されるであろう質問への回答や会話のポイントをメンバーで共有し、改善を重ねた。また、地元の大津青年会議所や滋賀県商工会議所に企業を紹介してもらえないか交渉して、地元企業へのつながる機会も増やしていった。その結果、実際には10社以上の企業、80名以上の個人から協賛金の協力を得ることができた。

また、企画部門にスポンサーからの反応や要望をフィードバックして、観客とスポンサーどちらにも喜ばれる企画に仕上げていくことも営業部門の重要な仕事の一つ。9月15日が敬老の日であることにちなんで孫からおじいちゃん、おばあちゃんへのメッセージをイニング間にアナウンスする企画について、CMをできる限り流したいスポンサー側の要望と、家族団欒の雰囲気を作りたい企画部門の意向の調整なども行なった。企業から与えられた課題をその指導を受けながら体験するインターンシップでは得ることができない、まさに現実にビジネスの現場で日々展開されているリアルな経験を得ることができた。

「学生のうちに、スポーツを通じて地域を活性化をする団体・財団法人を作りたいと考えています。そして、この経験を通じて人と関わる仕事、お金を扱う仕事に興味が出てきました」と語ってくれた渡辺さん。このリアルな経験を糧とした学生たちの今後の活躍が期待される。

※本企画は、プロスポーツビジネスを通じて卒業後、社会で活躍するため、コスト意識、コミュニケーション能力、企画立案能力、アイデアを実現するための行動力を身に付けることを目的に、スポーツ健康科学部と公益財団法人大学コンソーシアム京都が四国アイランドリーグplusとインターンシップ協定を結び、財団法人ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーションが協力することで実現しました。また、本インターンシップによる公式戦開催は、大津市、大津市教育委員会からの後援を得ました。



学生たちが制作した告知チラシ

立命館大学・立命館アジア太平洋大学一般入学試験要項（願書）

2015年度「立命館大学・立命館アジア太平洋大学一般入学試験要項（願書）」は11月上旬発行予定です。校友の皆様には無料でお届けいたします。ご希望の方は以下の要領で立命館大学入学センターまでご請求ください。

- ご請求はFAX、ハガキ、E-mailのいずれかにて承ります。
- 「一般入学試験要項送付希望」の旨を明記いただき、あわせて以下の事項についてお知らせください。

①お名前 ②送り先のご住所（郵便番号含む） ③電話番号 ④卒業年 ⑤出身学部

【FAXの場合】075-465-8210

【E-mailの場合】r-adm@st.ritsumei.ac.jp

【ハガキの場合】〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学入学センター「校友用一般入学試験願書請求係」まで

* 11月中旬より、順次発送いたします。

* 受付終了日：2015年1月6日（火）（※必着）

* お問い合わせは立命館大学入学センターまで（TEL：075-465-8351 9:00～17:30〈土・日・祝および12/26～1/5を除く〉）

校友の皆さまは
無料

立命館CLUB

立命館の「いま」が 届く!!

立命館大学の無料メールマガジン。全国約4,700名の方にご愛読いただき、大好評です。ご入会お待ちしています!! 詳しくは、Webへ

立命館CLUB

検索

WEB

www.ritsumei.ac.jp/rclub/



INFORMATION

校友消息 (判明分)

叙勲 2014 年春

■瑞宝小綬章

桑本久登氏 ('67 経営)
元山口県教育次長

就任 (内定含む)

小林 仁氏 ('85 経営)
ベネッセコーポレーション代表取締役社長
6月13日就任

井上正嗣氏 ('71 理工)
宮津市長
6月22日再選

平林幸子氏 ('71 法)
京都中央信用金庫副理事長
6月25日就任

平野二三記氏 ('77 経営)
のぞみ信用組合理事長
6月25日就任

竹田伸一氏 ('79 法)
財務省北陸財務局長
7月4日就任

訃報

谷岡武雄氏
学校法人立命館元総長 (名誉役員)
本学名誉教授
6月14日 逝去 98歳

澤田謙三氏 ('59 法)
福井県校友会副会長
6月24日 逝去 77歳

龍門 功氏 ('65 理工)
前岡山県校友会会長
6月26日 逝去 72歳

奥地 正氏
本学名誉教授
7月30日 逝去 80歳

BOOKS 校友会へご恵贈くださいました本の中から紹介させていただきます。

◆生田一舟氏 ('90 経済) 著
『禅とマネー』
アスペクト * 900 円 + 税

◆上村知弘氏 ('01 国関) 著
『Dall Sheep』
菁 社 * 1500 円 + 税

◆東宮春生氏 ('77 経営) 著
『七男と不二夫の満州』
東宮七男の会代表・東宮春生 * 2000 円 + 税

『東宮鐵男と満州開拓移民』
群馬出版センター * 5000 円 + 税

◆片岡健治氏 ('84 産社) 著
『管理会計の理論と実務』
税務経理協会 * 2800 円 + 税

◆木暮彩彦 ('78 経営) 著
『あなたにそっとおしえる京都』
自費出版 * 400 円 + 税

◆高橋晃氏 ('36 理工) 著
『Himarayan 紀行 Paradise found』
『Himarayan 紀行 II Paradise found』
自費出版

今夏集中豪雨 (平成26年8月豪雨) により被災された方々にお見舞い申し上げます
広島市、京都府福知山市、兵庫県丹波地方その他地域を襲った今夏集中豪雨 (平成26年8月豪雨)
によって被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

立命館大学校友会

校友会報「リつめい」257号
記事に関する訂正とお詫び

会報257号で祇園祭の漢字表記
に間違いがございました。
訂正の上、お詫び申し上げます。

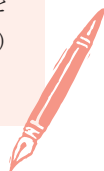
編集室から

は じめまして。総務委員より転任しまして、広報委員を務めさせていただきますことになりました安井亜希と申します。私ごとではありますが、先日第三子を出産致しました。一層甘えたになった4歳の長男を見ながら愛おしさを感じ、ぐんときっかりした2歳の長女を見ながら頼もしさを感じる日々です。改めて、学び舎の存在は大きかったなと人生を振り返りながら、立命館とのご縁に感謝しております。編集はまだ素人ですが、精一杯務めてまいりますのでどうぞよろしくお願いたします! まだ残暑厳しい中ですが、皆様お身体ご無理が出られせんようお過ごしくださいませ。(安井亜紀 '07 法学研究科)

今 回から広報委員になりました五嶋と申します。この会報の作成は大学だけでなく卒業生が関わっていることはご存知ない方が多いのではないのでしょうか。私も実は広報委員会の存在すら知りませんでした。広報委員会は会報リつめいや校友WEBページの企画をしている校友を中心とした組織です。そこで率直に感じたことですが、会議は思っていたより堅くて時には厳しい意見や議論もあって焦りました。もはや活動と言うより仕事に近い感覚。特にベテラン委員の方や関連する職業の方などバックボーンが多様で熱い方が多く更に焦りました。私には初めての経験ですが、これまでの若手中心のリコネクト活動などで校友のポテンシャルを感じているので、より幅広い層へキャッチーな情報発信をしたいと思います。(五嶋 翔一 '10 情報理工)

以 前から一度見たいと思っていた京都迎賓館。先日、念願が叶い、参観することができました。日本最高の材料と京都屈指の職人の技術の粋を集めた素晴らしい施設でした。日本の素晴らしさを伝え、後世に残そうとする職人の心意気には感動いたしました。以前に叙勲の職人にお話を聞く機会があり、京都迎賓館について、現代最高の伝統技術を後世に残すものとして建てられるのは意義深いことだと言っておられたのを思い出します。伝統とは尊いもの。我が校も110年を超える歴史と伝統を有し、今後は新キャンパスの創設など新たな挑戦も行われております。先輩方の培ってこられた伝統に新しい息吹を吹き込みながら、更に良きものにして後輩に伝えていくことの大切さを再認識いたしました。(森 力)

私 が今、注目しているのは、父母教育後援会の支援で実現した「100円朝食」だ。学生による「100円朝食レシピコンテスト」の企画もいい。毎日、朝食を摂る習慣を続けると、生活のリズムや心身のバランスが整う。「100円朝食を利用しない日も、自宅で朝食をつくる」という学生も増えており、常に「食」について意識し、関心を向けることにもなるだろう。近頃、同級生たちと集まれば、つい生活習慣病の話がでる。いつも飲んでる薬にまで話題が広がると、「この話暗くなるわ」「きりがいいし、やめよう」と皆、次第に押し黙ってゆく。今、この歳になって日頃、口にする食物の大切さをしみじみ思う。丁寧な暮らしをすること。今からでも少しずつ取り組んでいきたい。(山岡祐子)



BOOKS FOR BOOKS

～立命館の本活～



2013年4月～2014年7月末までに**1,087名**の方から**6万7678冊**の本をお送りいただきました。誠にありがとうございます。
引き続き、校友の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

💬 どのような仕組みですか？



💬 よくあるご質問

- Q: 書籍は中がきれいであればいい
けませんか？たとえば、鉛筆で線
が引かれたものは対象外ですか？
- A: 書き込みがあった場合でも対象
になります（ただし、一定の減額
になります）。

💬 手続きの方法は？

- ① 書籍を段ボール箱に入れる。
 - ② 電話（バリューストックス 0120-826-292）かWEBで集荷を依頼する。
- ※ お電話の場合は右の「申込書」をキリトリ線に沿って切り取り、
必要事項をご記入のうえ段ボール箱に入れてください
※ 5冊以上であれば送料は無料です

詳しくは **WEB** をご覧ください。

お問合せ先 学校法人立命館 総務部 寄付事務局 TEL：075-813-8110（平日 9:00～17:30）

お申込みにしてのご注意

買取額は市場価格等を考慮して（株）バリューストックスにて査定されます。買取額は需要と供給によって決まるため、
ご自身が大切にされている本であっても、残念ながら低額となることや値段がつかないこともございます。
お申込みいただくに際しては、その点をご理解くださいますようお願い申し上げます。

BOOKS FOR BOOKS～立命館の本活～申込書

1. 本申込書記入者（以下、私）は、私が所有する書籍等を株式会社バリューストックスに引き渡し、その売却代金を学校法人立命館が受領することをもって、私からの寄付とするものであることを確認します（現物寄付ではありません）。
2. 私は、株式会社バリューストックスおよび学校法人立命館に対し、理由を問わず、本件書籍等の返還、および買取相当額の支払いを請求いたしません。
3. 私は、株式会社バリューストックスと学校法人立命館が、本申込書に記載された氏名等の個人情報等を本プロジェクトならびに学校法人立命館の活動目的にのみ使用することを承知します。

ご記入日 年 月 日 送付段ボール箱数 箱

学校法人立命館 理事長 長田豊臣殿

学校法人立命館の設置する学校の教育および研究の充実のために本物品の売却代金を寄付します。

フリガナ

お名前

生年月日 西暦（ ）年（ ）月（ ）日

住所 〒 - （ ）

電話番号

E-mail

寄付目的 立命館学園の図書充実のため

本学との関係（任意）

- ☐ 卒業生 ☐ 卒業 西暦（ ）年 卒業校・学部（ ）
☐ 教職員 ☐ 元教職員 ☐ 在校生父母・卒業生父母
 お子様の在籍校・卒業校（ ）

今後、本学の各種行事等のご案内を差し上げる場合がございます。 ☐ 案内等を希望しない
希望されない方は右記にチェックをしてください。

事務局記載欄 買取価格 円 団体ID 98

<キリトリ>

立命館大学国際平和ミュージアム企画展のご案内

2014年度秋季特別展

「ピース☆スタイル」

1960年代以降、ベトナム反戦運動が契機となり、平和を求める動きが盛んになりました。個人個人が様々な価値観のもとに行動することで大きなうねりとなった当時の資料などを展示し、平和のための生き方やスタイルを持つことについて考えます。



ベトナム人民支援バッジ

特別展

世界報道写真展 2014
おなじ時代、おなじ空の下に

世界報道写真財団（本部：オランダ）が毎年開催するコンテスト入賞作品約140点を展示。オランダ・アムステルダムを皮切りに約100の会場で開催される世界規模の写真展です。BKC、APUでも開催します。



「世界報道写真大賞」ジョン・スタンマイヤー（米国、VIIからナショナルジオグラフィック誌）2013年2月26日、ジブチ市、ジブチ

特別企画展示

石川文洋写真展
「戦争と平和・ベトナムの50年」
ベトナム戦争中、南ベトナム政府軍・アメリカ軍に同行撮影したフォトジャーナリスト石川文洋の写真展。



「米兵に知らん顔」農村地帯で軍事作戦をする米軍と市場へ向う農民の女性。1966年 ビンディン省

第89回 ミニ企画展示

第8回 立命館附属校 平和教育実践展示
立命館学園の附属校による「平和」への取り組みを紹介します。

- ① 立命館守山中学校・高等学校 10/12（日）～10/24（金）
- ② 立命館小学校 10/26（日）～11/7（金）
- ③ 立命館宇治中学校・高等学校 11/9（日）～11/20（木）
- ④ 立命館中学校・高等学校 11/22（土）～12/5（金）
- ⑤ 立命館慶祥中学校・高等学校 12/7（日）～12/19（金）

会 期

2014年度 秋季特別展 ピース☆スタイル 10月21日（火）～12月14日（日）

特別展 世界報道写真展 2014 おなじ時代、おなじ空の下に 9月17日（水）～10月12日（日）
※10月14日（火）～10月30日（木）BKC
11月2日（日）～11月16日（日）APU

特別企画 石川文洋写真展「戦争と平和・ベトナムの50年」 9月14日（日）～10月9日（木）

第89回 第8回 立命館附属校 平和教育実践展示 10月12日（日）～12月19日（金）

開 館 時 間

午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）

休 館 日

月曜日
（ただし10/13（月）、11/3（月）は開館。9/24（水）、10/14（火）、11/4（火）、12/24（水）、12/26（金）～1/5（月）は休館。）

観 覧 料

一般400円（350円）／中・高生300円（250円）／小学生200円（150円）
（ ）は20名以上の団体料金／障害者手帳をお持ちの方（介護者1名を含む）は無料。

※特別展「世界報道写真展」期間中は、大人の一般観覧料が500円になります（団体料金適用はありません）。
常設展示（地階・2階）は、上記展示期間以外でも見学することができます。

立命館大学国際平和ミュージアム
常設展・特別展
校 友 招 待 券
有効期間
2014年12月23日（木）まで
（校友1名につき1枚）
校友会費1,000円
No.258